

(6) 魚類調査(広域調査)

1) 調査地点

表 6.1 (1) 魚類調査時の調査位置一覧(H29 年度春季・夏季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	計画路線周辺(中央)	35° 32 31.40	139° 45 38.80	刺網
2	計画路線周辺(右岸)	35° 32 25.75	139° 45 36.56	夕毛網・投網
3	計画路線周辺(左岸)	35° 32 39.73	139° 45 42.55	夕毛網・投網

表 6.1 (2) 魚類調査時の調査位置一覧(H30 年度秋季～R3 年度冬季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	上流側(左岸)1	35° 32 31.40	139° 45 38.80	金魚網・投網
2	上流側(左岸)2	35° 32 25.75	139° 45 36.56	金魚網・投網
3	計画路線付近(左岸)1	35° 32 39.73	139° 45 42.55	金魚網・投網
4	計画路線付近(左岸)2	35° 32 44.70	139° 45 15.38	金魚網・投網
5	計画路線付近(右岸)1	35° 32 44.56	139° 45 17.03	金魚網・投網
6	計画路線付近(右岸)2	35° 32 38.81	139° 45 45.66	金魚網・投網
7	下流側(右岸)1	35° 32 38.29	139° 45 46.93	金魚網・投網
8	下流側(右岸)2	35° 32 26.94	139° 45 35.67	金魚網・投網
9	計画路線付近(中央)	35° 32 25.68	139° 45 34.16	刺網

2) 調査方法

調査方法は、地曳網(干潟汀線)、夕毛網(浅瀬、干潟)、投網(浅瀬)、刺網(浅瀬)を用いて魚類の採取を行った。また、既存の資料を活用し、通常時の状況を把握したうえで行った。調査方法及び調査の実施状況は、表 6.2 に示すとおりである。

表 6.2 魚類の調査方法一覧

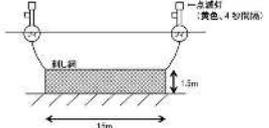
種類	調査実施状況				漁具の説明及び採取方法、漁具の企画・努力量
	R3年度春季(R3. 5. 14~15)	R3年度夏季(R3. 8. 5~6)	R3年度秋季(R3. 10. 6~7)	R3年度冬季(R4. 2. 21~22)	
投網					<p>水深の浅い箇所や平瀬に生息する魚類の採取に適している。タモ網等で捕獲が困難な遊泳力のある魚種の捕獲に有効である。対象とする魚類によって使用する規格が異なる。</p> <p>目合い18mm：スズキ、ウグイ、コイ類等 目合い12mm：マハゼ、ボラの幼魚等</p> <p>本調査手法は、左右岸の干潟上でのみ、実施した。</p> <p>目合：18mm 網幅：14.3m 数量：1統 目合：12mm 網幅：12.8m 数量：1統 努力量：1人5投程度</p>
金魚網					<p>主にハゼ類等の仔稚魚の採集に適している。</p> <p>本調査手法は、左右岸の干出した干潟上でのみ、実施した。各調査地点で10m*10mの調査区画を2区画設け、その区画内に存在するタイドプールを対象に、2人で10分間の採捕を行った。現地で同定できない種は、持ち帰って分析に供した。</p> <p>口径：15 cm 目合：0.5mm 各柄の長さ：30cm 数量：2本 努力量：2人で10分間</p>
刺網				 <p>水深の深い箇所や平瀬に生息する魚類の採取に適している。一晩設置することにより、夜行性魚種の捕獲に有効である。本調査手法は、中央の地点でのみ、実施した。なお、設置に際しては、航行船舶の通航を考慮し、上下流にライトブイを設置した。</p> <p>長さ：20m 網丈：1.2m 目合：15mm(半目) 数量：1枚 努力量：一晩設置</p>	
地曳網				 <p>水深の浅い箇所や平瀬に生息する魚類の採取に適している。タモ網等で捕獲が困難で遊泳力のある魚種の捕獲に有効であり、調査者の技量に左右されないで定量的に魚類を採捕するのに適している。本調査手法は、左右岸の干潟上でのみ、実施した。調査は、2人1組で袖部を保持して、各地点上流方向に50歩程度の曳航を3回行った。採捕された試料は、地点ごとに持ち帰って分析に供した。大型の個体は現地で種類の同定と計測を行った。仔稚魚も対象として採捕した。</p> <p>【袖口】目合：2mm 袖長：4m 【開口部】目合：0.8mm 開口部幅：4.0m 曳行：4.5m 数量：1統 努力量：上流方向に50歩*3回</p>	

表 6.3(1) 魚類調査地点における水質調査結果(R3 年度春季 / R3.5.14 ~ 15)

魚類調査地点における水質調査結果R3春季 (R3.5.14 ~ 15)

項目	単位	調査地点及び調査手法											
		地曳網				金魚網							
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流	
				1	2	1	2	1	2	1	2		
水温		20.9	21.3	25.0	22.7	30.3	27.1	27.5	24.4	34.0	30.9	29.6	26.5
塩分	-	9.40	14.80	9.80	9.60	12.90	14.30	18.70	18.60	16.4	12.4	17.30	20.40
DO	mg/L	8.00	9.70	7.90	8.30	9.50	12.80	9.40	5.40	13.8	8.1	6.80	6.50
pH	-	7.7	8.2	7.6	7.7	8.1	8.3	7.8	7.6	8.5	7.6	8.0	8.4
濁度	FTU	8.0	6.0	9.0	7.5	-	-	-	8.0	-	-	-	-

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。

表 6.3(2) 魚類調査地点における水質調査結果(R3 年度夏季 / R3.8.5 ~ 6)

魚類調査地点における水質調査結果R3夏季(R3.8.5 ~ 6)

項目	単位	調査地点及び調査手法											
		地曳網				金魚網							
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流	
				1	2	1	2	1	2	1	2		
水温		30.7	28.7	33.0	29.3	35.8	34.9	30.3	31.1	35.6	35.0	欠測	
塩分	-	11.10	10.60	8.80	10.90	10.00	11.40	11.90	16.00	11.00	9.10		
DO	mg/L	8.80	7.10	8.50	10.40	7.20	9.80	9.60	5.20	7.00	10.50		
pH	-	7.9	7.7	7.7	8.1	7.6	7.9	7.8	7.6	7.9	8.3		
濁度	FTU	-	-	-	13.0	-	-	9.0	-	-	-		

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。
左岸下流及び右岸湾ではタイドプールがなかったため金魚網による調査は欠測。

表 6.3(3) 魚類調査地点における水質調査結果(R3 年度秋季 / R3.10.6 ~ 7)

魚類調査地点における水質調査結果R3秋季(R3.10.6 ~ 7)

項目	単位	調査地点及び調査手法											
		地曳網				金魚網							
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流	
				1	2	1	2	1	2	1	2		
水温		23.6	23.1	25.9	24.5	24.8	23.9	23.9	24.7	32.1	31.1	27.5	29.8
塩分	-	8.70	12.00	12.90	12.20	12.80	12.10	18.60	18.70	16.90	13.20	14.6	14.3
DO	mg/L	8.50	7.00	6.60	5.50	9.70	8.20	8.00	13.70	13.70	6.20	4.4	3.4
pH	-	7.6	7.6	7.6	7.4	8.1	7.8	7.7	8.3	8.0	8.1	7.6	7.6
濁度	FTU	10.0	-	-	7.0	7.0	-	7.5	7.0	-	-	-	-

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。

表 6.3(4) 魚類調査地点における水質調査結果(R3 年度冬季 / R4.2.21 ~ 22)

魚類調査地点における水質調査結果R3冬季(R4.2.21 ~ 22)

項目	単位	調査地点及び調査手法											
		地曳網				金魚網							
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流	
				1	2	1	2	1	2	1	2		
水温		20.9	21.3	25.0	22.7	30.3	27.1	27.5	24.4	34.0	30.9	29.6	26.5
塩分	-	9.40	14.80	9.80	9.60	12.90	14.30	18.70	18.60	16.4	12.4	17.30	20.4
DO	mg/L	8.00	9.70	7.90	8.30	9.50	12.80	9.40	5.40	13.8	8.1	6.80	6.5
pH	-	7.7	8.2	7.6	7.7	8.1	8.3	7.8	7.6	8.5	7.6	8.0	8.4
濁度	FTU	8.0	6.0	9.0	7.5	-	-	-	8.0	-	-	-	-

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。

表 6.4 (1) 魚類確認種一覧(R3 年度春季(R3.5.14~15))

No.	分類*1				生活史型	調査時期及び調査地点*3 R3年度春季(R3.5.14~15)																						
	目名	科名	学名	種名*2		右岸上流				右岸下流				中央		左岸上流				左岸下流								
						右岸上流計	金魚網		投網	地曳網	右岸下流計	金魚網		投網	地曳網	刺網	左岸上流計	金魚網		投網	地曳網	左岸下流計	金魚網		投網	地曳網		
1	ニシン	ニシン	Konosirus punctatus	コノシロ	海水	6				6	2				2				33				33	20				20
2		カタクチイワシ	Engraulis japonicus	カタクチイワシ	海水										8													
3	コイ	コイ	Tribolodon	ウグイ属	遡河回遊																		2				2	
4	サケ	アユ	Plecoglossus altivelis altivelis	アユ	両側回遊																		2				2	
5	トゲウオ	ヨウジウオ	Syngnathus schlegelii	ガンテンイシヨウジ	海水																		1				1	
6	ボラ	ボラ	Mugil cephalus cephalus	ボラ	海水	241			190	51	65			40	25				63			41	22	184		130	54	
7	ダツ	サヨリ	Hyporhamphus sajori	サヨリ	海水	3				3	1				1								1				1	
8	スズキ	コチ	Platycephalus sp.2	マゴチ	海水																		1			1	1	
9		スズキ	Lateolabrax japonicus	スズキ	海水																		1				1	
10		タイ	Acanthopagrus schlegelii	クロダイ	海水													1					1					
11			Acanthopagrus latus	キチヌ	海水																							
12		ハゼ	Eutaeniichthys gilli	ヒモハゼ	汽水																		2				2	
13			Acanthogobius flavimanus	マハゼ	汽水	73	1		29	43	18	1	3	3	11				996		3	76	917	999	1	2	79	917
14			Acanthogobius lactipes	アシシロハゼ	汽水	2			1	1	1				1				29			4	25	125		7	118	
15			Pseudogobius masago	マサゴハゼ	汽水	41	41				1		1						20	9	11			1			1	
16			Tridentiger bifasciatus	シモフリシマハゼ	汽水																		1				1	
17			Tridentiger obscurus	チチブ	汽水	1		1			2	2											2			1	1	
18			Redigobius bikolanus	ヒナハゼ	汽水																		1				1	
19			Glossogobius olivaceus	ウロハゼ	汽水																		1				1	
20			Favonigobius gymnauchen	ヒメハゼ	汽水													16			1	15	18				18	
21			Gymnogobius petschiliensis	スミウキゴリ	両側回遊	1				1	12								4				4	4			4	
22			Gymnogobius urotaenia	ウキゴリ	両側回遊	5				5	4				4				8				8	14			14	
23			Gymnogobius heptacanthus	ニクハゼ	海水						2				2								4				4	
24			Gymnogobius breunigii	ピリンゴ	汽水	569			1	568	93	2	7		84				289			3	286	399	3		396	
25			Gymnogobius uchidai	チクゼンハゼ	汽水																		2	1			1	
26			Gymnogobius macrognathos	エドハゼ	汽水	189	12	6		171	133	1		1	131				960		8	3	949	780	33	3	1	743
-			Gobiidae	ハゼ科	不明													6					6	9			9	
合計	7目	11科	-	23種	種数	11種	3種	2種	4種	9種	12種	4種	3種	3種	10種	1種	11種	1種	3種	6種	10種	23種	4種	2種	6種	22種		
					個体数	1131個体	54個体	7個体	221個体	849個体	334個体	6個体	11個体	44個体	273個体	8個体	2425個体	9個体	22個体	128個体	2266個体	2574個体	38個体	5個体	219個体	2312個体		

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト~令和元年度版~(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 「~科の一種」「~属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

*3: 数値を記入した種が、当該調査時期に確認されており、数値は確認個体数を記した。

*4: 生活史型は以下のとおり(出典:加納光樹・小池哲・河野博.1999.東京湾内湾の干潟域の魚類相とその多様性.魚類学雑誌 47(2))。

海水魚:海域で産卵を行う種であり、基本的には河川淡水域では成長しない。汽水魚:河口域や海域境界で産卵し、河口域で全生活史をほぼ完結する種である。

両側回遊魚:産卵を河川淡水域で行い、仔魚は流下して海域で多少成長した後に河川に戻り、河川で成長・成熟する種である。

遡河回遊魚:産卵のために河川を遡り、淡水域で産卵を行う種である。

表 6.4 (3) 魚類確認種一覧(R3 年度秋季(R3.10.6~7))

No.	分類*1				生活史型	調査時期及び調査地点*3 R3年度秋季(R3.10.6~7)																						
	目名	科名	学名	種名*2		右岸上流				右岸下流				中央	左岸上流				左岸下流									
						右岸上流計	金魚網		投網	地曳網	右岸下流計	金魚網		投網	地曳網	刺網	左岸上流計	金魚網		投網	地曳網	左岸下流計	金魚網		投網	地曳網		
1	ニシン	ニシン	Sardinella zunasi	サツバ	海水					8				7	1	131												
2	コイ	コイ	Opsariichthys platypus	オイカワ	淡水																							
3			Pseudaspius brandtii maruta	マルタ	遡河回遊					6				6														
4			Pseudaspius	ウグイ	遡河回遊					2				1	1													
5	トゲウオ	ヨウジウオ	Hippichthys penicillus	ガンテンイシヨウジ	海水																				1			1
6	ボラ	ボラ	Mugil cephalus cephalus	ボラ	海水	9			9	21			21												4			4
7			Chelon haematocheilus	メナダ	海水	7			7																			
8	スズキ	コチ	Platycephalus sp.2	マゴチ	海水											1	7		6	1								
9		ヒイラギ	Nuchequula nuchalis	ヒイラギ	海水											97	48			48								
10			Acanthopagrus latus	キチヌ	海水																							
11		ニベ	Pennahia argentata	シログチ	海水											13												
12		ハゼ	Eutaeniichthys gilli	ヒモハゼ	汽水																							
13			Acanthogobius flavimanus	マハゼ	汽水	31	3		23	5	10	1		9		1	29		14	15	9	1				8		
14			Acanthogobius lactipes	アシシロハゼ	汽水	1				1	1					1	21			21	1	1						
15			Pseudogobius masago	マサゴハゼ	汽水												4		4		6	3						3
16			Tridentiger obscurus	チチブ	汽水	1	1					4		4														
-			Tridentiger	チチブ属(未着色稚魚)	不明																				1			1
17			Rhinogobius	ヨシノボリ属	両側回遊																				4			4
18			Acentrogobius sp.2	ツマグロスジハゼ	海水												1			1								
-			Acentrogobius	キララハゼ属(スジハゼ類)	海水	1						1					17			17								
19			Favonigobius gymnauchen	ヒメハゼ	汽水												2			2	2		1					1
20			Gymnogobius heptacanthus	ニクハゼ	海水												2			2								
21			Gymnogobius breunigii	ビリンゴ	汽水												1		1									
22			Gymnogobius uchidai	チクゼンハゼ	汽水					1		1																
-			Gobiidae	ハゼ科	不明					12															4			4
23		カマス	Sphyraena pinguis	アカカマス	海水											2												
合計	5目	9科	-	23種	種数	6種	2種	0種	3種	3種	8種	1種	2種	5種	3種	6種	11種	0種	2種	3種	8種	9種	3種	1種	3種	5種		
					個体数	50個体	4個体	0個体	39個体	7個体	65個体	1個体	5個体	44個体	15個体	245個体	140個体	0個体	5個体	23個体	112個体	31個体	5個体	1個体	13個体	12個体		
							50個体					65個体						140個体					31個体					

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト~令和元年度版~(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 「~科の一種」「~属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

*3: 数値を記入した種が、当該調査時期に確認されており、数値は確認個体数を記した。

*4: 生活史型は以下のとおり(出典:加納光樹・小池哲・河野博.1999.東京湾内湾の干潟域の魚類相とその多様性.魚類学雑誌 47(2))。

海水魚:海域で産卵を行う種であり、基本的には河川淡水域では成長しない。汽水魚:河口域や海域境界で産卵し、河口域で全生活史をほぼ完結する種である。

両側回遊魚:産卵を河川淡水域で行い、仔魚は流下して海域で多少成長した後に河川に戻り、河川で成長・成熟する種である。

遡河回遊魚:産卵のために河川を遡り、淡水域で産卵を行う種である。

表 6.4 (4) 魚類確認種一覧(R3 年度冬季(R4.2.21 ~ 22))

No.	分類*1				生活史型	調査実施時期及び調査地点*3																				
	目名	科名	学名	種名*2		右岸上流				右岸下流				中央				左岸上流				左岸下流				
						右岸上流計	金魚網		投網	地曳網	右岸下流計	金魚網		投網	地曳網	刺網	左岸上流計	金魚網		投網	地曳網	左岸下流計	金魚網		投網	地曳網
							岸側	沖側				岸側	沖側					岸側	沖側				岸側	沖側		
1	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	両側回遊																			28		
2		シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>	シラウオ	汽水																			1		
3	ボラ	ボラ	<i>Muqil cephalus cephalus</i>	ボラ	海水	2																		1		
4	スズキ	メバル	<i>Sebastes pachycephalus pachycephalus</i>	ムラソイ	海水																			1		
5		スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	海水	1																		3		
6		タウエガジ	<i>Dictyosoma burgeri</i>	ダイナンギンボ	海水																			3		
7		ハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	汽水	1																		1		
8			<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ	汽水	114			3	111	3													1		
9			<i>Pseudogobius masago</i>	マサゴハゼ	汽水	4		4																2		
10			<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ	汽水							3		3												
11			<i>Redigobius bikolanus</i>	ヒナハゼ	汽水																			1		
12			<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ	汽水																			2		
13			<i>Gymnogobius breunigii</i>	ピリンゴ	汽水																			15		
14			<i>Gymnogobius uchidai</i>	チクゼンハゼ	汽水																			1		
15			<i>Gymnogobius macrognathos</i>	エドハゼ	汽水	1																		1		
-			Gobiidae	ハゼ科	不明	2																		2		
合計	3目	7科	-	15種	種数	6種	1種	0種	1種	5種	11種	1種	0種	2種	9種	2種	8種	0種	0種	1種	8種	7種	0種	0種	3種	6種
					個体数	125個体	4個体	0個体	3個体	118個体	110個体	3個体	0個体	2個体	105個体	4個体	123個体	0個体	0個体	1個体	122個体	38個体	0個体	0個体	5個体	33個体
							125個体					110個体						123個体					38個体			

*1：種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～令和元年度版～(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2：「～科の一種」「～属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

*3：数値を記入した種が、当該調査時期に確認されており、数値は確認個体数を記した。

*4：生活史型は以下のとおり(出典：加納光樹・小池哲・河野博、1999、東京湾内湾の干潟域の魚類相とその多様性、魚類学雑誌 47(2))。

海水魚：海域で産卵を行う種であり、基本的には河川淡水域では成長しない。

汽水魚：河口域もしくは河口域と海域の境界で産卵を行い、河口域で全生活史をほぼ完結する種である(仔魚期に海域へ分散することもある)。

両側回遊魚：産卵を河川淡水域で行い、仔魚は流下して海域で多少成長した後河川に戻り、河川で成長・成熟する種である。

遡河回遊魚：産卵のために河川を遡り、淡水域で産卵を行う種である。

3) 重要種選定基準

現地調査によって生息が確認された種のうち、表 6.5 に示す選定基準に基づいて重要種を選定した。

表 6.5 重要種選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・発行者	制定・発行年	カテゴリー(カッコ内は略号)
	法律	文化財保護法	「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
		種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内)
	文献	環境省RL	「環境省レッドリスト2020」(環境省、2020年)に記載されている種	環境省	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
	文献	東京都RDB	「東京都の保護上重要な野生動物種(本土部)～レッドデータブック東京2013～」(東京都環境局、平成25年)に記載されている種 本調査では、「区部」の地域区分該当種が対象となる。	東京都	2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1～*8) *1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある) *2: 過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている *4: 外来種の影響に注意する必要がある *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている *6: 自然の回復状況をあらわしている *7: 良好な環境の指標となる *8: タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
	文献	神奈川県RDB	動物: 「神奈川県レッドデータブック生物調査報告書2006(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成18年)に記載されている種 植物: 神奈川県レッドリスト2020	神奈川県	動物: 2006 植物: 2020	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

表 6.7 (1) 重要種確認状況

項目	内容
種名	ニホンウナギ
一般的生態	東アジア、国内では北海道以南に分布。マリアナ諸島西方海域で産卵し、仔魚はレプトケファルス幼生となって海流に運ばれる。沿岸域に到達してシラスウナギとなり、底生生活に移行し、河川や沿岸域で成長する。
注目種の選定状況	環境省 RL: EN (絶滅危惧 IB 類) 東京都 RDB: EN (絶滅危惧 IB 類)
確認状況	令和 3 年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和 2 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和 2 年 5 月 10 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	オイカワ
一般的生態	河川の中・下流域、湖沼等に生息する。繁殖期は 6-8 月頃で、浅瀬の砂礫底で産卵する。関東地方に在来の遺伝子型が確認されているが、放流等により交雑が進み、在来系統の個体がほとんど見られなくなっている
注目種の選定状況	東京都 RDB: DD (情報不足)
確認状況	秋季に左岸上流の地曳網で稚魚 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和 3 年 10 月 16 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和 3 年 10 月 6 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (2) 重要種確認状況

項目	内容
種名	マルタ
一般的生態	体長 60cm 程度。体型は紡錘型で、口ひげはない。オスの婚姻色(赤色縦条)は 1 本しかない。婚姻色の出ていない本種と他のウグイ属との識別は、目視では困難である。主に沿岸部から河口部の汽水域に生息し、春の産卵期には川を遡上し、河川の瀬に集団で産卵する。
注目種の選定状況	東京都 RDB: NT (準絶滅危惧) 神奈川県 RDB: VU (絶滅危惧 類)
確認状況	夏季には、左岸下流の地曳網・投網で計 6 個体が確認された。秋季には、右岸上流を除く投網で計 27 個体が確認された。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和 3 年 9 月 3 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和 3 年 8 月 6 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ウグイ
一般的生態	婚姻色の出ていないマルタとは、頭部の感覚管の形態等で識別できる。淡水型と降海型があり、前者は河川上流域から河口域、湖沼などに広く分布、後者は汽水域から内湾、外海の沿岸部まで見られる。産卵期は春から夏、河川の瀬に集団で産卵する。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB: NT (準絶滅危惧)
確認状況	夏季には、左岸下流の地曳網で 1 個体が確認された。秋季には、右岸下流の投網と地曳網でそれぞれ 1 個体ずつが確認された。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和 3 年 9 月 3 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和 3 年 8 月 6 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (3) 重要種確認状況

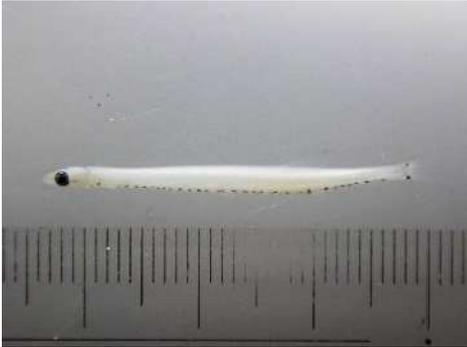
項目	内容
種名	イシカワシラウオ
一般的生態	体長 7 cm程度。体形は細長く、体色は半透明な白色。あぶらびれがある。主に外洋に面する沿岸に生息する。産卵期は 2-5 月で、外洋に面した沿岸の水深約 5 mの砂底に産卵する。
注目種の選定状況	東京都 RDB:CR (絶滅危惧 A 類)
確認状況	令和 3 年度調査では確認されなかった。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：平成 30 年 10 月 17 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：平成 30 年 10 月 10 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	クルマサヨリ
一般的生態	成魚は全長 20 cm程度で、下顎が長く、先端が黒い。本州から九州、朝鮮半島、中国に分布。大きな河川の汽水域付近で一生を送る。産卵期は春から初夏で、水草などに卵を産みつける。
注目種の選定状況	環境省 RL : NT (準絶滅危惧) 東京都 RDB: CR (絶滅)
確認状況	令和 3 年度調査では確認されなかった。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 9 月 9 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 8 月 18 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (4) 重要種確認状況

項目	内容
種名	キチヌ
一般的生態	成魚は沿岸浅所の岩礁域周辺に生息する。幼魚は河川汽水域を生育場としており、干満に合わせて河川を出入りしながら小動物を捕食する。産卵期は秋で分離浮性卵を産む。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB：DD（情報不足）
確認状況	春季および夏季には、右岸澁の投網でそれぞれ1個体ずつが確認された。秋季には、右岸澁の地曳網で稚魚が2個体確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年8月5日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年8月5日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	メナダ
一般的生態	体長70cm程度。体型は紡錘型で、頭部は扁平する。尾びれはあまり湾入せず、眼球の周囲が赤く、口ひげはない。河口域や干潟などに生息する。産卵期は春で分離浮性卵を産む。
注目種の選定状況	東京都 RDB：VU（絶滅危惧類） 神奈川県 RDB：DD（情報不足）
確認状況	夏季には、右岸下流、左岸上流および下流の投網で、それぞれ5、1および1個体が確認された。秋季には、右岸上流および右岸澁の投網でそれぞれ7および2個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年9月3日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年8月5日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (5) 重要種別確認状況

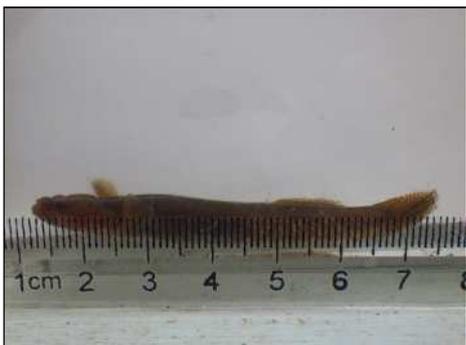
項目	内容
種名	ミミズハゼ
一般的生態	体長 8cm 程度。体型は細長く円筒形、ぬめりがある。口ひげはない。河川の汽水域や下流域から海岸の潮間帯まで広く生息する。産卵期は春頃で、卵は石の下などに産み付けられ、雄が守る。
注目種の選定状況	東京都 RDB: DD (情報不足) 神奈川県 RDB: DD (情報不足)
確認状況	令和 3 年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時:平成 29 年 8 月 11 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時:平成 29 年 8 月 11 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	イソミミズハゼ
一般的生態	体長 5cm 程度。体型は細長く円筒形、ぬめりがある。口ひげはない。岩礫性の海岸や河川河口域等に生息し、礫の空隙や転石下に潜む。本種は、尾鰭の縁辺に
注目種の選定状況	東京都 RDB: DD (情報不足) 神奈川県 RDB: DD (情報不足)
確認状況	令和 3 年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時:平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時:平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (6) 重要種確認状況

項目	内容
種名	ヒモハゼ
一般的生態	河口に発達する干潟の砂泥底に生息する。干潮時は甲殻類の坑道内に潜む。産卵期は5月から8月で、甲殻類の坑道内に卵を産み付ける。
注目種の選定状況	環境省 RL : NT (準絶滅危惧) 神奈川県 RDB : DD (情報不足)
確認状況	春季には左岸下流の地曳網で2個体が確認された。夏季には仔稚魚が確認され、全地点の地曳網で計28個体、右岸上流の潮だまりで1個体が確認された。秋季には、右岸湾の地曳網で稚魚が1個体確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年5月15日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月15日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	スミウキゴリ
一般的生態	主に河川下流から汽水域に生息する。動物食性でエビや水生昆虫、小魚などを食す。産卵期は冬から春。卵は石の下などに産み付けられ、雄が守る。ふ化仔魚は海へ降り、ある程度成長した稚魚期になると河川を溯上する。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB : NT (準絶滅危惧)
確認状況	春季に、右岸上・下流、左岸上・下流の地曳網で、計21個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年6月21日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月15日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (7) 重要種確認状況

項目	内容
種名	ウキゴリ
一般的生態	汽水域から河川中流域に生息する。動物食で、水生昆虫やエビ、小魚を食べる。産卵期は春で、卵は石の下などに産み付けられ、雄が守る。ふ化仔魚は海へ降り、ある程度成長した稚魚期になると河川を溯上する。
注目種の選定状況	東京都 RDB : NT (準絶滅危惧)
確認状況	春季に、全地点の地曳網で、計 32 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年6月21日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月15日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	エドハゼ
一般的生態	体長 4cm 程度。体型は細長い紡錘型で、下顎下部にひげ状突起がない。河川の汽水域から内湾の干潟に生息する。産卵期は春で、甲殻類の坑道内に卵を産み付ける。
注目種の選定状況	環境省 RL : VU (絶滅危惧 類) 東京都 RDB : VU (絶滅危惧 類) 神奈川県 RDB : DD (情報不足)
確認状況	春季には、計 2465 個体が確認された。全地点の主に地曳網で多数確認された他、潮だまりでも広く確認された。夏季には、右岸上流および右岸澁の地曳網でそれぞれ 1 個体ずつが確認された。冬季には右岸上流および左岸上流の地曳網でそれぞれ 1 個体ずつが確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年6月21日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月15日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (8) 重要種確認状況

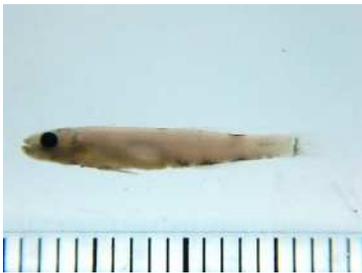
項目	内容
種名	チクゼンハゼ
一般的生態	体長 3 cm程度。下顎下部にひげ状突起があること等でエドハゼと識別できる。北海道から九州に分布。河口域の干潟に生息する。東京湾では、小櫃川河口域にほぼ限定的にみられる他、葛西の人工渚でもわずかに確認されている。産卵期は春で、甲殻類等の坑道内に卵を産み付ける。
注目種の選定状況	環境省 RL：VU（絶滅危惧 類）
確認状況	春季には、右岸濤の地曳網、左岸下流の地曳網と地点潮だまりで、それぞれ1個体ずつが確認された。秋季には、右岸下流の潮だまりで1個体が確認された。冬季には、右岸下流の地曳網で1個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年6月21日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月15日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ピリンゴ
一般的生態	体長 5cm 程度。体型は細長い紡錘型で体側に暗色横斑がある。腹びれは吸盤状になっている。河川の感潮域の砂泥底に生息する。産卵期は春で、河口域の甲殻類の坑道内に卵を産み付け、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB：NT（準絶滅危惧）
確認状況	春季には合計 2038 個体が確認された。全地点の主に地曳網で多数確認された他、右岸下流および左岸下流では、潮だまりでも確認された。夏季には、合計 927 個体が確認された。全地点の主に地曳網で確認され、右岸濤、右岸上流、左岸上流で多かった。秋季には、右岸濤の地曳網で 82 個体、左岸上流の潮だまりで 1 個体が確認された。冬季には、右岸下流、左岸上・下流の地曳網でそれぞれ 15、7、3 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年6月21日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月14日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (9) 重要種確認状況

項目	内容
種名	ウロハゼ
一般的生態	河川汽水域に生息し、砂底や砂泥底の転石下などに潜む。夜行性で、魚類や甲殻類を捕食する。産卵期は夏で、石やブロックの下に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB：注目（注目種）
確認状況	春季には、左岸下流の地曳網で幼魚 1 個体が確認された。夏季には、成魚が、右岸湾および左岸下流の投網で、それぞれ 2 および 1 個体確認された。その他、着底後間もない稚魚が、右岸上流および右岸湾の地曳網で、それぞれ 3 および 9 個体確認された。
<個体写真>	
	
<p>個体写真 (撮影日時：令和 3 年 6 月 21 日)</p>	<p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 3 年 5 月 15 日)</p>
項目	内容
種名	アシシロハゼ
一般的生態	体長 9cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭がやや丸い。体側に暗色斑がある。河川の汽水域から内湾に生息する。産卵期は 5-9 月で、転石の下等に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB：NT（準絶滅危惧）
確認状況	春季には計 359 個体が確認された。全地点で主に地曳網で確認された。夏季には計 32 個体が確認された。左岸上流以外の地点の地曳網で確認された。秋季には、左岸上流の地曳網で 21 個体が確認された他、右岸全地点の地曳網、左岸下流の潮だまりでそれぞれ 1 個体ずつが確認された。冬季には右岸上・下流、左岸上・下流の地曳網でそれぞれ 111、2、79、1 個体が確認された他、投網でも確認された。
<個体写真>	
	
<p>個体写真 (撮影日時：令和 3 年 6 月 21 日)</p>	<p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 3 年 5 月 14 日)</p>

表 6.7 (10) 重要種確認状況

項目	内容
種名	マサゴハゼ
一般的生態	体長 3cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭がやや丸い。体側に暗色斑がある。河川の汽水域の泥底に生息する。産卵期は 5-9 月頃と推定されている。
注目種の選定状況	環境省 RL : VU (絶滅危惧 類) 東京都 RDB : VU (絶滅危惧 類) 神奈川県 RDB : DD (情報不足)
確認状況	春季には、右岸上流、右岸下流および左岸上流の潮だまりでそれぞれ 41、1、20 個体が確認された他、左岸下流では地曳網で 1 個体が確認された。夏季には計 739 個体が確認された。ほとんどが着底前の稚魚で、全地点の地曳網で確認され、左岸上流で最も多く、右岸下流で少なかった。潮だまりでは、右岸上流および左岸上流で、それぞれ 92 および 3 個体が確認され、小型個体が多かったが、右岸上流では成魚も確認された。秋季には左岸上流の潮だまりで 4 個体、左岸下流の潮だまりと地曳網で 3 個体ずつ、右岸湾の地曳網で 1 個体が確認された。冬季には、右岸上流の潮だまりで 4 個体が確認された。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年6月21日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月14日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ヒメハゼ
一般的生態	体長 9cm 程度。体型は細長い紡錘型で尾柄が細い。体側に暗色斑がある。河口域やそれに続く干潟に生息する。産卵期は夏頃で、石や貝殻の下等に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB : NT (準絶滅危惧)
確認状況	春季に計 34 個体が確認された。左岸上流および下流で、主に地曳網で確認された。秋季には、左岸上流の地曳網で 2 個体、左岸下流の地曳網と潮だまりでそれぞれ 1 個体ずつが確認された。冬季には右岸下流、左岸上・下流の地曳網でそれぞれ 2、2、1 個体が確認された。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和3年6月21日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和3年5月15日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (11) 重要種確認状況

項目	内容
種名	アベハゼ
一般的生態	体長 4cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。体側に暗色斑と尾びれに向かって伸びる 2 本の黒褐色縦帯がある。河川の汽水域の泥底に生息する。産卵期は春から夏。石の下やカキ殻等に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB:NT (準絶滅危惧)
確認状況	夏季に、計 85 個体が確認された。ほとんどが着底前の稚魚で、全地点の地曳網で確認された。潮だまりでは、着底後間もない稚魚が、右岸上流および左岸上流でそれぞれ 2 および 1 個体確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 3 年 9 月 3 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和元年 10 月 1 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ツマグロスジハゼ
一般的生態	体長 5cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。内湾の湾奥、干潟、河口域、アマモ場、潮間帯の砂泥、泥底に生息する。産卵期は夏で、テッポウエビの巣穴や貝殻の下などに卵を産み付ける。腹鰭中央先端部のみが黒色であること等でスジハゼと区別できる。
注目種の選定状況	東京都 RDB: DD (情報不足)
確認状況	秋季に、左岸上流の地曳網で 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 3 年 10 月 16 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 3 年 10 月 6 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (12) 重要種確認状況

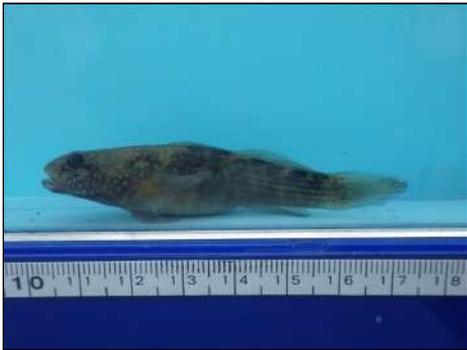
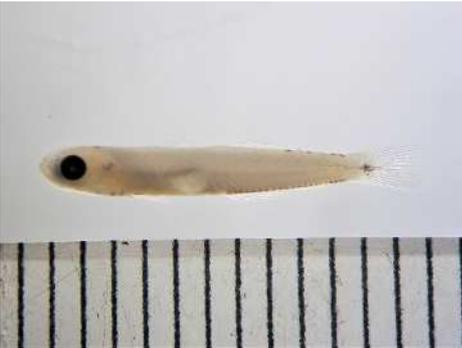
項目	内容
種名	ヌマチチブ
一般的生態	体長 13cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。体側に青白色点が点在する。河川の中流域から汽水域、ため池などに生息する。産卵期は春から夏で、石の下等に産卵し雄が保護する。孵化した仔魚は海に下り、2 cm程に成長してから河川を遡上する両側回遊魚であるが、容易に陸封される。
注目種の選定状況	東京都 RDB: NT (準絶滅危惧)
確認状況	令和 3 年度調査では確認されなかった。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時:平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時:平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	チチブ
一般的生態	体長 10cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。体側に青白色点が点在する。胸びれつけ根の黄斑に橙色線がない。内湾や河川の汽水域に生息する。産卵期は春から夏で、石の下等に産卵し雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB: NT (準絶滅危惧)
確認状況	春季に、右岸上流および下流の潮だまりで、それぞれ 1 および 2 個体が、左岸下流の投網および地曳網でそれぞれ 1 個体ずつが確認された。潮だまり内では転石や流木陰で確認された。夏季には、右岸下流の潮だまりの転石際で 4 個体、左岸上流の地曳網で 1 個体が確認された。秋季には、右岸上流および下流の潮だまりで、それぞれ 1 および 4 個体が確認された。冬季には、右岸下流の潮だまりで 3 個体が確認された。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時:令和 3 年 6 月 21 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時:令和 3 年 5 月 14 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (13) 重要種確認状況

項目	内容
種名	サツキハゼ
一般的生態	体長 4 cm程度。河川汽水域や港などの牡蠣殻のある場所に生息する。群れで中層を遊泳し、動物プランクトンを捕食する。産卵期は夏。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB : DD (情報不足)
確認状況	夏季に左岸下流の地曳網で全長 1.2cm の稚魚が 1 個体確認された。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p data-bbox="188 566 311 595"><個体写真></p>  <p data-bbox="496 952 596 981">個体写真</p> <p data-bbox="371 990 721 1019">(撮影日時：令和3年9月3日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="954 952 1126 981">本種の確認環境</p> <p data-bbox="865 990 1214 1019">(撮影日時：令和3年8月6日)</p> </div> </div>	

(7) 底生生物調査(広域調査)

1) 調査地点

表 7.1 (1) 各調査項目の調査範囲及び調査地点(H29 年度春季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	1-R-1	35° 32 29.11	139° 45 13.99	-
2	1-R-2	35° 32 29.30	139° 45 14.00	-
3	1-R-3	35° 32 30.00	139° 45 14.01	-
4	1-R-4	35° 32 30.40	139° 45 14.01	-
5	1-C-R	35° 32 34.60	139° 45 14.10	-
6	1-C-L	35° 32 37.30	139° 45 14.10	-
7	1-L-4	35° 32 43.70	139° 45 14.20	-
8	1-L-3	35° 32 44.00	139° 45 14.20	-
9	1-L-2	35° 32 45.70	139° 45 14.20	-
10	1-L-1	35° 32 45.89	139° 45 14.20	-
11	2-R-1	35° 32 28.31	139° 45 21.89	-
12	2-R-2	35° 32 28.40	139° 45 21.90	-
13	2-R-3	35° 32 29.30	139° 45 22.10	-
14	2-R-4	35° 32 29.60	139° 45 22.20	-
15	2-C-R	35° 32 32.70	139° 45 23.01	-
16	2-C-L	35° 32 36.60	139° 45 23.92	-
17	2-L-4	35° 32 42.51	139° 45 25.40	-
18	2-L-3	35° 32 42.80	139° 45 25.49	-
19	2-L-2	35° 32 44.11	139° 45 25.80	-
20	2-L-1	35° 32 44.50	139° 45 25.90	-
21	3-R-1	35° 32 26.10	139° 45 29.40	-
22	3-R-2	35° 32 26.31	139° 45 29.40	-
23	3-R-3	35° 32 29.40	139° 45 30.50	-
24	3-R-4	35° 32 29.69	139° 45 30.60	-
25	3-L-2	35° 32 41.50	139° 45 34.88	-
26	3-L-1	35° 32 42.09	139° 45 35.10	-
27	4-1R-1	35° 32 24.80	139° 45 36.29	-
28	4-1R-2	35° 32 24.90	139° 45 36.40	-
29	4-1R-3	35° 32 29.60	139° 45 38.89	-
30	4-1R-4	35° 32 29.91	139° 45 39.10	-
31	4-1L-2	35° 32 38.91	139° 45 43.80	-
32	4-1L-1	35° 32 39.50	139° 45 44.10	-
33	4-2R-1	35° 32 24.30	139° 45 38.30	-
34	4-2R-2	35° 32 24.50	139° 45 38.30	-
35	4-2R-3	35° 32 29.51	139° 45 41.01	-
36	4-2R-4	35° 32 29.81	139° 45 41.19	-
37	4-2L-2	35° 32 38.20	139° 45 45.60	-
38	4-2L-1	35° 32 38.79	139° 45 45.90	-
39	4-3R-1	35° 32 23.80	139° 45 40.20	-
40	4-3R-2	35° 32 24.00	139° 45 40.20	-
41	4-3R-3	35° 32 28.71	139° 45 42.70	-
42	4-3R-4	35° 32 29.00	139° 45 42.90	-
43	4-3L-2	35° 32 37.50	139° 45 47.29	-
44	4-3L-1	35° 32 38.01	139° 45 47.71	-
45	5-R-1	35° 32 18.10	139° 45 51.30	-
46	5-R-2	35° 32 18.20	139° 45 51.40	-
47	5-R-3	35° 32 21.50	139° 45 54.00	-
48	5-R-4	35° 32 21.81	139° 45 54.20	-
49	5-L-4	35° 32 29.91	139° 46 0.51	-
50	5-L-3	35° 32 30.09	139° 46 0.70	-
51	5-L-2	35° 32 31.40	139° 46 1.70	-
52	5-L-1	35° 32 31.50	139° 46 1.80	-
53	6-R-1	35° 32 14.00	139° 45 57.49	-
54	6-R-2	35° 32 14.11	139° 45 57.59	-
55	6-R-3	35° 32 18.20	139° 46 1.09	-
56	6-R-4	35° 32 18.40	139° 46 1.30	-
57	6-L-4	35° 32 27.12	139° 46 8.71	-
58	6-L-3	35° 32 27.30	139° 46 8.91	-
59	6-L-2	35° 32 28.21	139° 46 9.70	-
60	6-L-1	35° 32 28.40	139° 46 9.79	-

表 7.1 (2) 各調査項目の調査範囲及び調査地点(H29 年度秋季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	1-R-1	35° 32 30.26	139° 45 14.59	-
2	1-C-1	35° 32 40.67	139° 45 14.67	-
3	1-C-2	35° 32 36.02	139° 45 14.62	-
4	1-L-1	35° 32 45.10	139° 45 14.69	-
5	2-R-1	35° 32 29.67	139° 45 22.32	-
6	2-C-1	35° 32 40.02	139° 45 24.98	-
7	2-C-2	35° 32 35.46	139° 45 23.81	-
8	2-L-1	35° 32 44.10	139° 45 26.03	-
9	3-R-1	35° 32 26.95	139° 45 29.75	-
10	3-C-1	35° 32 38.94	139° 45 34.02	-
11	3-C-2	35° 32 33.81	139° 45 32.20	-
12	3-L-1	35° 32 42.03	139° 45 35.16	-
13	4-1-R-1	35° 32 24.68	139° 45 36.53	-
14	4-1-R-2	35° 32 28.71	139° 45 38.43	-
15	4-1-C-1	35° 32 37.67	139° 45 43.11	-
16	4-1L-1	35° 32 39.21	139° 45 43.96	-
17	4-2R-1	35° 32 23.92	139° 45 38.46	-
18	4-2-R-2	35° 32 28.17	139° 45 40.61	-
19	4-2-C-1	35° 32 37.27	139° 45 45.25	-
20	4-2-C-2	35° 32 34.15	139° 45 43.69	-
21	4-2-C-3	35° 32 32.52	139° 45 42.80	-
22	4-2-C-4	35° 32 30.84	139° 45 42.00	-
23	4-2L-1	35° 32 38.56	139° 45 45.92	-
24	4-3-R-1	35° 32 23.27	139° 45 40.23	-
25	4-3-R-2	35° 32 27.58	139° 45 42.26	-
26	4-3-C-1	35° 32 36.46	139° 45 46.89	-
27	4-3L-1	35° 32 37.82	139° 45 47.63	-
28	5-R-1	35° 32 18.38	139° 45 51.50	-
29	5-R-2	35° 32 22.17	139° 45 54.38	-
30	5-C-1	35° 32 28.38	139° 45 59.15	-
31	5-L-1	35° 32 31.11	139° 46 1.16	-
32	6-R-1	35° 32 14.55	139° 45 57.84	-
33	6-R-2	35° 32 18.20	139° 46 0.91	-
34	6-C-1	35° 32 22.79	139° 46 4.77	-
35	6-L-1	35° 32 27.71	139° 46 8.93	-

表 7.1 (3) 各調査項目の調査範囲及び調査地点(H30 年度春季～R3 年度春季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	1-R-1	35° 32 30.26	139° 45 14.59	-
2	1-C-1	35° 32 40.67	139° 45 14.67	-
3	1-C-2	35° 32 36.02	139° 45 14.62	-
4	1-L-1	35° 32 45.10	139° 45 14.69	-
5	2-R-1	35° 32 29.67	139° 45 22.32	-
6	2-C-1	35° 32 40.02	139° 45 24.98	-
7	2-C-2	35° 32 35.46	139° 45 23.81	-
8	2-L-1	35° 32 44.10	139° 45 26.03	-
9	3-R-1	35° 32 26.95	139° 45 29.75	-
10	3-C-1	35° 32 38.94	139° 45 34.02	-
11	3-C-2	35° 32 33.81	139° 45 32.20	-
12	3-L-1	35° 32 42.03	139° 45 35.16	-
13	4-1-R-1	35° 32 24.68	139° 45 36.53	-
14	4-1-R-2	35° 32 28.71	139° 45 38.43	-
15	4-1-C-1	35° 32 37.67	139° 45 43.11	-
16	4-1L-1	35° 32 39.21	139° 45 43.96	-
17	4-2R-1	35° 32 23.92	139° 45 38.46	-
18	4-2-C-1	35° 32 37.27	139° 45 45.25	-
19	4-2L-1	35° 32 38.56	139° 45 45.92	-
20	4-3-R-1	35° 32 23.27	139° 45 40.23	-
21	4-3-C-1	35° 32 36.46	139° 45 46.89	-
22	4-3L-1	35° 32 37.82	139° 45 47.63	-
23	5-R-1	35° 32 18.38	139° 45 51.50	-
24	5-R-2	35° 32 22.17	139° 45 54.38	-
25	5-C-1	35° 32 28.38	139° 45 59.15	-
26	5-L-1	35° 32 31.11	139° 46 1.16	-
27	6-R-1	35° 32 14.55	139° 45 57.84	-
28	6-R-2	35° 32 18.20	139° 46 0.91	-
29	6-C-1	35° 32 22.79	139° 46 4.77	-
30	6-L-1	35° 32 27.71	139° 46 8.93	-

表 7.1 (4) 各調査項目の調査範囲及び調査地点(R3 年度秋季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	1-R-1	35°32 30.26	139°45 14.59	-
2	1-C-1	35°32 40.67	139°45 14.67	-
3	1-C-2	35°32 36.02	139°45 14.62	-
4	1-L-1	35°32 45.10	139°45 14.69	-
5	2-R-1	35°32 29.67	139°45 22.32	-
6	2-C-1	35°32 40.02	139°45 24.98	-
7	2-C-2	35°32 35.46	139°45 23.81	-
8	2-L-1	35°32 44.10	139°45 26.03	-
9	3-R-1	35°32 26.95	139°45 29.75	-
10	3-C-1	35°32 38.94	139°45 34.02	-
11	3-C-2	35°32 33.81	139°45 32.20	-
12	3-L-1	35°32 42.03	139°45 35.16	-
13	4-1-R-1	35°32 24.68	139°45 36.53	-
14	4-1-R-2	35°32 28.71	139°45 38.43	-
15	4-1-C-1	35°32 37.67	139°45 43.11	-
16	4-1-L-1	35°32 39.21	139°45 43.96	-
17	4-2-R-1	35°32 23.92	139°45 38.46	-
18	4-2-R-2	35°32 24.50	139°45 38.30	埋戻し箇所
19	4-2-C-1	35°32 37.27	139°45 45.25	-
20	4-2-L-1	35°32 38.56	139°45 45.92	-
21	4-3-R-1	35°32 23.27	139°45 40.23	-
22	4-3-R-2	35°32 24.00	139°45 40.20	埋戻し箇所
23	4-3-C-1	35°32 36.46	139°45 46.89	-
24	4-3-L-1	35°32 37.82	139°45 47.63	-
25	5-R-1	35°32 18.38	139°45 51.50	-
26	5-R-2	35°32 22.17	139°45 54.38	-
27	5-C-1	35°32 28.38	139°45 59.15	-
28	5-L-1	35°32 31.11	139°46 1.16	-
29	6-R-1	35°32 14.55	139°45 57.84	-
30	6-R-2	35°32 18.20	139°46 0.91	-
31	6-C-1	35°32 22.79	139°46 4.77	-
32	6-L-1	35°32 27.71	139°46 8.93	-

2) 調査方法

底生生物の調査方法は、定量調査(スミスマッキンタイヤ(河川内)、コアサンプラー(干潟))、任意踏査(スコップ、タモ網等)による採集を行った。

採取方法は、15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ20cmまで採泥し、1.0mm目のフルイで砂泥を濾して各地点の底生生物を採集した。

底生生物調査方法及び実施状況は、表7.2に示すとおりである。

表7.2 底生生物調査方法及び実施状況

	調査方法		
	任意観察		定量採集
実施状況			
	R3年度春季 (R3. 5. 13~15)		
実施状況			
	R3年度秋季 (R3. 10. 5~7)		
概要	任意観察は、干潟上に出現する大型甲殻類(カニ類等)を目視で観察するほか、転石を起し、適宜タモ網を使用して、定量調査では出現しにくい大型の甲殻類の確認に努めた。	定量採集は、調査範囲内に設定した調査地点で、φ15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、スコップや熊手を用いてその範囲の底泥を深さ20cmまで掬いとり、1.0mm目の篩で砂泥を濾し、残渣物を底生生物の分析試料とした。	コアサンプラーで採集できない河川上の地点においては、上図に示すスミス・マッキンタイヤを用いて採集した。

3) 重要種の選定基準

表 7.3 重要種の選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・発行者	制定・発行年	カテゴリー (カッコ内は略号)
	法律	文化財保護法	「文化財保護法」 (昭和25年5月30日法律第214号) に基づく天然記念物及び特別天然 記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
		種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物 の種の保存に関する法律」(平成 4年6月5日法律第75号)に基づく 国内希少野生動植物種及び緊急指 定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内)
	文献	環境省 RL	「環境省レッドリスト2017」(環 境省、平成29年)に記載されてい る種	環境省	2017	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
		東京都 RDB	「東京都の保護上重要な野生生物 物種(本土部)~レッドデータ ブック東京2013~」(東京都環境 局、平成25年)に記載されている 種 本調査では、「区部」の地域区 分該当種が対象となる。	東京都	2013	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1~*8) *1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、 生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある) *2: 過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている *4: 外来種の影響に注意する必要がある *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている *6: 自然の回復状況をあらわしている *7: 良好な環境の指標となる *8: タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
		神奈川県 RDB	「神奈川県レッドデータブック生 物調査報告書2006(神奈川県立生 命の星・地球博物館、平成18年) に記載されている種	神奈川県	2006	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

4) 調査結果

表 7.4 底生生物分類群別確認種数(R3 年度春季 / R3.5.13~15)

門	綱	目	R3d春季	
			科数	種数
紐形動物			1	1
軟体動物	腹足綱	盤足目	1	1
		頭楯目	1	1
	二枚貝綱	イガイ目	1	1
		マルスダレガイ目	7	10
環形動物	多毛綱	サシバゴカイ目	7	11
		イソメ目	1	1
		スピオ目	2	8
		イトゴカイ目	2	5
		オフエリアゴカイ目	1	1
		フサゴカイ目	1	1
		ケヤリムシ目	1	2
		節足動物	軟甲綱	クーマ目
ヨコエビ目	2	2		
ワラジムシ目	1	1		
エビ目	4	4		
腕足動物	ホウキムシ綱	ホウキムシ目	1	1
5門	6綱	17目	35種	52種

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～令和元年度版～(水情報国土管理センター、2021年)」に準拠した。

*2: 「～科の一種」「～属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

表 7.5 底生生物分類群別確認種数(R3 年度秋季 / R3.10.5~7)

門	綱	目	R3d秋季	
			科数	種数
紐形動物			1	1
軟体動物	腹足綱	盤足目	1	1
		新腹足目	1	1
	二枚貝綱	イガイ目	1	1
		マルスダレガイ目	7	9
		ウミタケガイモドキ目	1	1
環形動物	多毛綱	サシバゴカイ目	4	6
		イソメ目	1	1
		スピオ目	2	7
		イトゴカイ目	1	4
		オフエリアゴカイ目	1	1
節足動物	軟甲綱	ヨコエビ目	1	1
		ワラジムシ目	1	1
		エビ目	5	6
4門	5綱	14目	28科	41種

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～令和元年度版～(水情報国土管理センター、2021年)」に準拠した。

*2: 「～科の一種」「～属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

表 7.6 底生生物重要種一覧

No.	分類				H27年度	H28年度	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		重要種選定基準								
	門	綱	目	科	(アセス時)		春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季									
40	軟体動物	腹足	盤足	ワカウラツボ																NT					
41				カワグチツボ																		NT			
42				サザナミツボ																				NT	
43				カワザンショウガイ																					NT
44						ヒナタムシヤドリカワザンショウガイ																		NT	NT
45					頭楯	ミズゴマツボ																		NT	
46						エドガワミズゴマツボ																		NT	
47						ブドウガイ																		VU	
48					二枚貝	カミスジカイコガイダマシ																		DD	
49						ウロコガイ																		DD	
50						ガタツキ																		DD	
51						フナガタガイ																		DD	
52						ウネナシトマヤガイ																		DD	
53						シジミ																		DD	
54				ヤマトシジミ																		DD			
55				マルスダレガイ																		DD			
56				ハマグリ																		DD			
57				ニッコウガイ																		DD			
58				サビシラトリガイ																		DD			
59				オオノガイ																		DD			
60				オオノガイ																		DD			
61	節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ																			DD		
62						ユビナガスジエビ																			DD
63						シラタエビ																			留意
64						スジエビ																			留意
65							ホンヤドカリ																		留意
66							ユビナガホンヤドカリ																		留意
67							スナモグリ																		留意
68							ニホンスナモグリ																		留意
69							ベンケイガニ																		留意
70							クロベンケイガニ																		留意
71							アカテガニ																		留意
72							ウモレベンケイガニ																		留意
73							カクベンケイガニ																		留意
74							ベンケイガニ																		留意
75				モクスガニ																		留意			
76				モクスガニ																		留意			
77				アシハラガニ																		留意			
78				チゴガニ																		留意			
79				コメツキガニ																		留意			
80				コメツキガニ																		留意			
81				オサガニ																		留意			
82				ヤマトオサガニ																		留意			
83				(モクスガニ)																		留意			
84				(ケフサイソガニ)																		留意			
合計	2門	3綱	5目	18科	27種	11種	7種	17種	11種	8種	11種	16種	12種	8種	15種	13種	14種	0種	0種	11種	21種	0種			

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト - 令和元年度版 - (水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 重要種の選定基準とランクについては表 7.3 に準拠した。

*3: ヒナタムシヤドリカワザンショウガイはムシヤドリカワザンショウで記載。

*4: 赤字は東京都レッドリスト 2020 に新 k に 掲載されたため整理し直したもの。ケフサイソガニは対象外となった。

表 7.8 (2) 定量採集結果(R3 年度秋季 / R3.10.5~7)

R3秋底生生物結果一覧(20211005-07)

No.	学名			測線4-2						測線4-3						測線5						測線6					
				左岸		中央		右岸		左岸		中央		右岸		左岸		中央		右岸		左岸		中央		右岸	
				4-2-L-1	4-2-C-1	4-2-R-1	4-3-L-1	4-3-C-1	4-3-R-0	4-3-R-1	5-L-1	5-C-1	5-R-2	5-R-1	6-L-1	6-C-1	6-R-2	6-R-1									
目名	科名	種名	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量			
1	(紐形動物門)	(紐形動物門)	紐形動物門																								
2	盤足目	ミスゴマツボ科	エドガワミスゴマツボ			5	0.01																				
3	新腹足目	ムシロガイ科	アラムシロガイ																								
4	イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ			2	0.02																				
5	マルスダレガイ目	ガンツキ科	ガタツキ																								
6		バカガイ科	シオフキガイ																								
7		ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ			1	1.10																				
8		アサジガイ科	シズクガイ			3	0.13																				
9		マテガイ科	Solen属																								
10		シジミ科	ヤマトシジミ																								
11		マルスダレガイ科	ホンビノスガイ																								
12			ハマグリ																								
13			アサリ																								
14	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ																								
15	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone属																								
16		チロリ科	Glycera属																								
17		カギゴカイ科	Sigambra属																								
18		ゴカイ科	Ceratonereis erythraeensis																								
19			Hediste属																								
20			アシナガゴカイ																								
21	イソメ目	ギボシイソメ科	カタマカリギボシイソメ																								
-			Scoletoma属																								
22	スピオ目	スピオ科	シノブハネエラスピオ																								
23			Polydora属																								
24			ヤマトスピオ																								
25			Pseudopolydora属																								
26			Scoletepis属																								
27			ホソエリタテスピオ																								
28		ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ																								
29	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella属																								
30			Heteromastus属																								
31			Mediomastus属																								
32			Notomastus属																								
33	オフェリアゴカイ目	オフェリアゴカイ科	Armandia属																								
34	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ																								
35	ウラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura属																								
36	エビ目	テナガエビ科	シラタエビ																								
37		テッポウエビ科	Alpheus属																								
38			Athanas属																								
39		スナモグリ科	スナモグリ科																								
40		コメツキガニ科	Scopimera globosa																								
41		オサガニ科	Macrophthalmus属																								
-	14目	28科	41種	個体数/湿重量	34個体 0.37g	32個体 1.91g	8個体 0.33g	17個体 0.08g	50個体 2.40g	9個体 0.02g	14個体 2.30g	27個体 0.52g	30個体 0.42g	19個体 0.28g	19個体 0.52g	18個体 0.98g	100個体 4.98g	42個体 2.21g	9個体 1.07g								
			確認種数	6種	8種	5種	6種	10種	5種	10種	10種	10種	10種	9種	6種	10種	13種	9種	3種								

*: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト - 令和元年度版 - (水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

** : 網掛け(4-3-R-0)は濁すじ調査として新規に設定した地点。

(8) 底質調査(広域調査)

1) 調査方法

底質調査は、表 11.1 に示す調査手法を用いて、調査範囲内の底生生物の生息環境を把握するために土質調査を実施した。

底質の採取方法は、15cm の円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ 20cm まで採泥し、土質調査(粗度組成、強熱減量、COD)、現地測定(pH、底層 DO、水温、塩分)を行った。コアサンプラーで採集できない河川上の地点においては、スミス・マッキンタイヤを用いて採集した。

底質調査地点の座標等は、底生動物調査地点と同じである。

表 8.1 底質方法及び実施状況

		底質調査方法 定量採集	
実施状況			
	R3年度春季 (R3. 5. 13~15)		
概要			
	R3年度秋季 (R3. 10. 5~7)		
	定量採集は、調査範囲内に設定した調査地点で、φ15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、スコップや熊手を用いてその範囲の底泥を深さ20cmまで掬いとり、1.0mm目の篩で砂泥を濾し、残渣物を底生生物の分析試料とした。	コアサンプラーで採集できない河川上の地点においては、上図に示すスミス・マッキンタイヤを用いて採集した。	

2) 調査結果

表 8.2 底質調査分析結果(R3 年度春季/R3.5.13~15)

No.	調査時期	左右岸	地点名	粒度分析結果									化学分析結果	
				d50(mm)	粗礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	強熱減量 (%)	COD (mg/g - dry)
1	春季	中央	1-C-1	0.258		0.1	0.4	0.6	51.3	31.9	10.1	5.6	2.5	2.4
2	春季	中央(中州)	1-C-2	0.0631					0.7	41.9	40.8	16.6	5.5	5.1
3	春季	左岸	1-L-1	0.266				0.3	57.2	40.6	1.2	0.7	1.9	0.9
4	春季	右岸	1-R-1	0.0225		0.3	0.1	0.2	4.9	22.1	42.2	30.2	6.9	9.7
5	春季	中央	2-C-1	0.237			0.1	0.3	43.8	52.7	1.8	1.3	1.8	1.3
6	春季	中央(中州)	2-C-2	0.0847					1.6	52.3	33.1	13.0	4.7	4.1
7	春季	左岸	2-L-1	0.142		0.6	1.2	0.9	19.2	50.7	19.3	8.1	2.7	3.2
8	春季	右岸	2-R-1	0.0197			0.7	0.6	21.8	16.6	26.8	33.5	4.2	4.6
9	春季	中央	3-C-1	0.159				0.1	16.1	57.3	20.1	6.4	3.2	3.8
10	春季	中央(中州)	3-C-2	0.0447		0.2	0.3	0.4	11.0	25.7	38.2	24.2	5.4	4.7
11	春季	左岸	3-L-1	0.132		0.1	0.7	0.6	12.7	48.0	21.0	16.9	3.4	3.4
12	春季	右岸	3-R-1	0.131		0.6	0.3	0.4	16.0	45.2	16.2	21.3	4.0	4.7
13	春季	中央	4-1-C-1	0.0147					0.1	1.9	70.6	27.4	8.3	14.0
14	春季	左岸	4-1-L-1	0.163		0.1	0.3	0.4	21.0	56.1	15.0	7.1	3.1	3.1
15	春季	右岸	4-1-R-1	0.0806			0.1	0.2	10.6	40.8	30.0	18.3	3.5	4.2
16	春季	右岸	4-1-R-2	0.325		1.8	0.5	1.0	73.8	19.3	2.6	1.0	1.6	1.8
17	春季	中央	4-2-C-1	0.0161		0.2	0.1	0.0	0.3	5.6	63.9	29.9	8.2	12.0
18	春季	左岸	4-2-L-1	0.264			0.9	1.2	52.3	37.8	5.0	2.8	1.8	2.0
19	春季	右岸	4-2-R-1	0.0707			0.4	0.1	4.4	43.4	33.5	18.2	5.5	7.3
20	春季	中央	4-3-C-1	0.0346			0.1		1.9	25.6	47.2	25.2	5.7	6.5
21	春季	左岸	4-3-L-1	0.281		1.2	0.4	1.6	55.6	31.9	6.2	3.1	1.8	1.8
22	春季	右岸	4-3-R-1	0.171		0.3	0.4	0.7	19.7	62.3	10.9	5.7	2.7	3.4
23	春季	中央	5-C-1	0.0632		1.6	0.1	0.6	39.4	6.0	36.4	15.9	4.9	4.4
24	春季	左岸	5-L-1	0.207			0.1	0.7	36.0	49.1	10.6	3.5	2.3	2.3
25	春季	右岸	5-R-1	0.207			0.1	0.7	36.2	43.9	11.2	7.9	4.0	5.0
26	春季	右岸	5-R-2	0.197		3.6	0.3	0.9	26.3	53.7	10.3	4.9	3.5	2.3
27	春季	中央	6-C-1	0.0239					0.2	3.8	71.7	24.3	7.8	13.0
28	春季	左岸	6-L-1	0.221				0.4	39.0	47.9	8.7	4.0	2.8	4.0
29	春季	右岸	6-R-1	0.215		9.7	0.3	0.7	28.9	49.5	8.4	2.5	2.6	3.4
30	春季	右岸	6-R-2	0.211		0.1	0.1	0.6	34.3	51.1	9.9	3.9	1.9	2.2

R3年度春季底質調査結果(粒度分析)

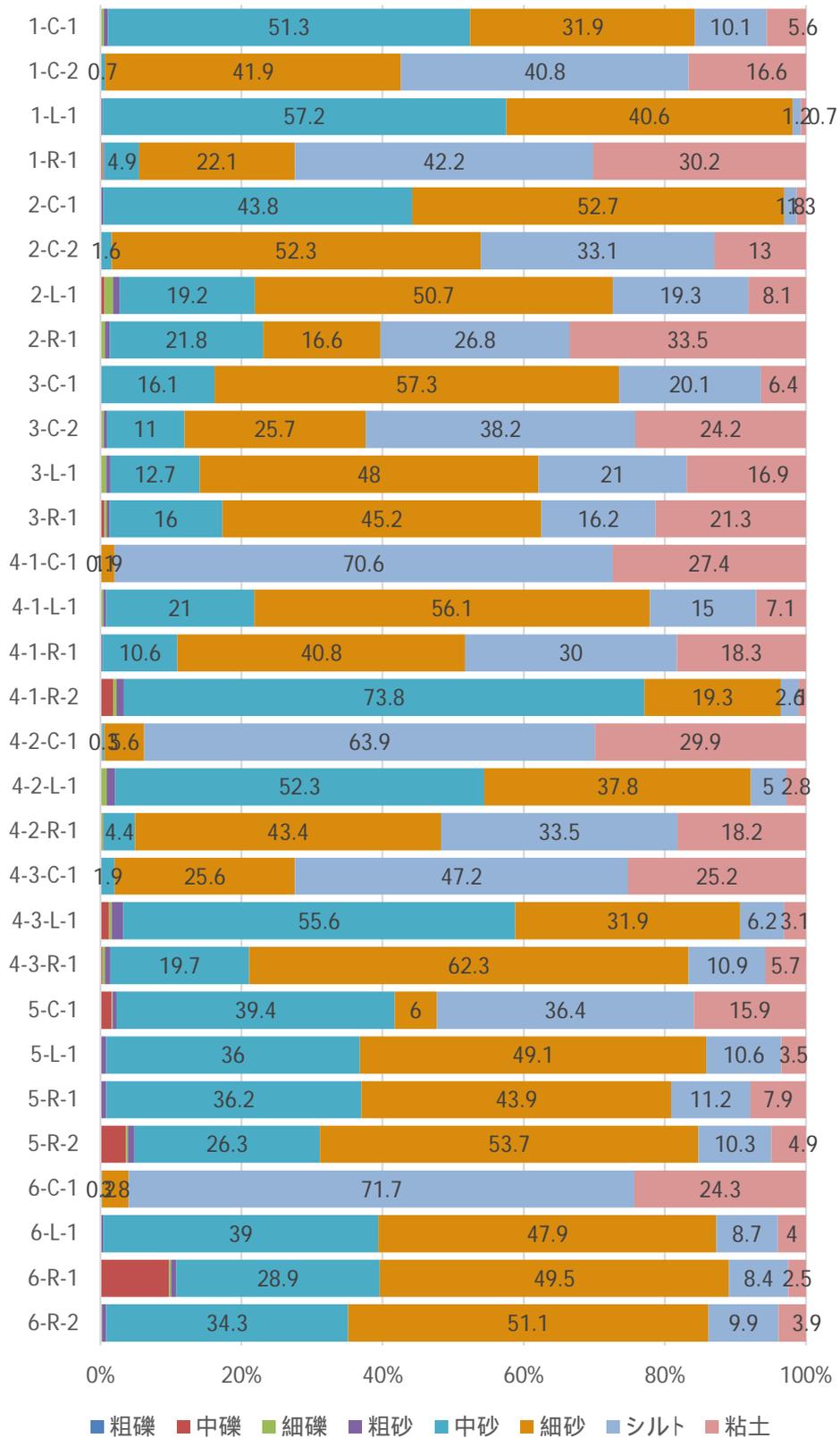


図 8.1 粒度組成分析結果 (R3 年度春季 / R3.5.13 ~ 15)

表 8.3 底質調査分析結果 (R3 年度秋季/R3.10.5 ~ 7)

No.	調査時期	左右岸	地点名	粒度分析結果									化学分析結果	
				d50(mm)	粗礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	強熱減量 (%)	COD (mg/g - dry)
1	秋季	中央	1-C-1	0.277	0.0	0.0	0.1	1.2	59.1	33.2	4.4	2.0	1.8	2.5
2	秋季	中央(中州)	1-C-2	0.061	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	39.6	40.1	19.6	4.4	5.5
3	秋季	左岸	1-L-1	0.257	0.0	0.0	0.1	0.2	53.3	43.5	2.4	0.5	1.9	1.2
4	秋季	右岸	1-R-1	0.074	0.0	0.0	0.4	0.5	13.9	35.0	25.4	24.8	4.0	3.9
5	秋季	中央	2-C-1	0.153	0.0	0.0	0.0	0.1	11.9	54.7	15.3	18.0	3.9	5.1
6	秋季	中央(中州)	2-C-2	0.129	0.0	0.0	0.1	0.1	3.3	61.5	20.9	14.1	3.8	4.1
7	秋季	左岸	2-L-1	0.17	0.0	0.0	0.1	0.7	18.5	62.4	12.2	6.1	2.0	2.8
8	秋季	右岸	2-R-1	0.0838	0.0	0.9	0.6	1.0	12.8	35.9	22.7	26.1	4.1	3.6
9	秋季	中央	3-C-1	0.00816	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	10.0	48.1	41.7	10.6	13.0
10	秋季	中央(中州)	3-C-2	0.065	0.0	0.0	0.5	0.4	12.5	35.4	28.1	23.1	4.5	4.2
11	秋季	左岸	3-L-1	0.183	0.0	0.0	0.2	0.2	16.8	63.5	11.6	7.7	2.5	3.3
12	秋季	右岸	3-R-1	0.0461	0.0	0.4	0.2	0.3	6.6	37.2	21.4	33.9	5.1	4.6
13	秋季	中央	4-1-C-1	0.0146	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.6	63.5	33.7	8.5	10.0
14	秋季	左岸	4-1-L-1	0.183	0.0	0.0	0.2	0.4	20.8	65.7	8.6	4.3	2.8	3.1
15	秋季	右岸	4-1-R-1	0.11	0.0	0.0	0.1	0.1	13.0	45.3	27.1	14.4	3.8	4.3
16	秋季	右岸	4-1-R-2	0.395	0.0	6.7	1.5	3.0	79.4	8.0	0.3	1.1	1.9	1.2
17	秋季	中央	4-2-C-1	0.0133	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	12.4	52.9	33.9	6.9	7.3
18	秋季	左岸	4-2-L-1	0.227	0.0	0.3	0.2	1.2	40.9	48.7	5.1	3.6	2.1	2.1
19	秋季	右岸	4-2-R-1	0.134	0.0	3.2	0.4	0.5	21.7	32.6	19.7	21.9	3.5	3.5
20	秋季	右岸	4-2-R-2	0.187	0.0	1.0	1.2	2.1	27.0	49.0	13.3	6.4	2.7	0.0
21	秋季	中央	4-3-C-1	0.0101	0.0	0.0	0.2	0.3	0.8	8.7	52.4	37.6	7.3	8.7
22	秋季	左岸	4-3-L-1	0.192	0.0	0.1	0.0	0.8	25.4	61.6	7.9	4.2	2.5	2.7
23	秋季	右岸	4-3-R-1	0.0813	0.0	0.0	0.3	0.7	13.4	37.8	29.6	18.2	3.7	3.8
24	秋季	右岸	4-3-R-2	0.21	0.0	0.7	0.8	1.5	29.4	60.1	5.0	2.5	1.9	1.2
25	秋季	中央	5-C-1	0.0137	0.0	0.0	0.1	0.1	9.1	5.4	51.9	33.4	6.6	8.5
26	秋季	左岸	5-L-1	0.187	0.0	0.0	0.1	0.5	29.8	43.1	15.8	10.7	2.5	4.4
27	秋季	右岸	5-R-1	0.199	0.0	0.2	0.0	1.0	35.2	39.0	15.0	9.6	3.3	4.8
28	秋季	右岸	5-R-2	0.265	0.0	0.0	0.0	1.4	53.3	35.4	5.7	4.2	1.8	2.2
29	秋季	中央	6-C-1	0.0201	0.0	0.0	0.2	0.0	0.4	7.2	61.3	30.9	7.4	8.6
30	秋季	左岸	6-L-1	0.235	0.0	0.0	0.0	0.2	42.9	47.0	5.8	4.1	2.4	2.6
31	秋季	右岸	6-R-1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.8	68.1	29.6	0.4	0.9	1.7	1.0
32	秋季	右岸	6-R-2	0.198	0.0	0.0	0.6	1.1	35.0	39.1	15.2	9.0	3.1	3.6
-	秋季	右岸	4-3-R-0	0.11	0.0	0.0	0.2	0.2	8.0	50.8	23.2	17.6	4.6	5.3

*埋め戻しに伴い 4-2-R-2、4-3-R-2 の 2 地点での調査を再開した。

*4-3-R-0 は濁すじ調査のために新規設定した地点。

R3年度春季底質調査結果(粒度分析)

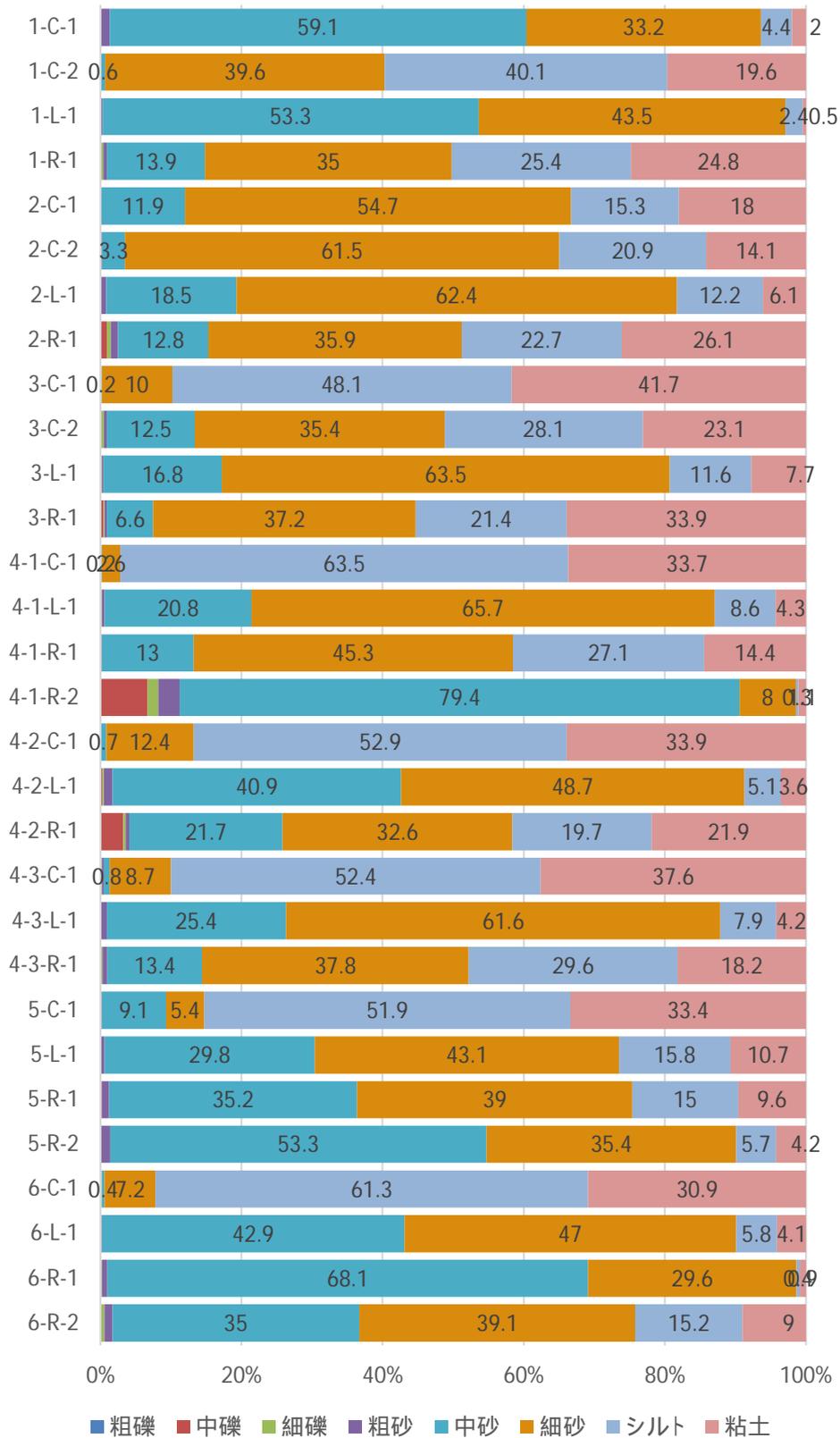


図 8.2 粒度組成分析結果 (R3 年度秋季/R3.10.5 ~ 7)

(9) 地形変動(干潟調査)

1) 調査方法

夏季・秋季調査の測量は、レベルによる直接水準測量とし、調査範囲を 20m 間隔で実施した。ただし、緩衝帯の 5 測線は 1m 間隔で調査を実施した。

調査員は 3 名とし、1 名が陸地(測量機器操作員)、2 名が干潟内(測量ポールを使用し、位置を確認する作業員及び、巻尺による距離確認する補助作業員)で作業を実施した。

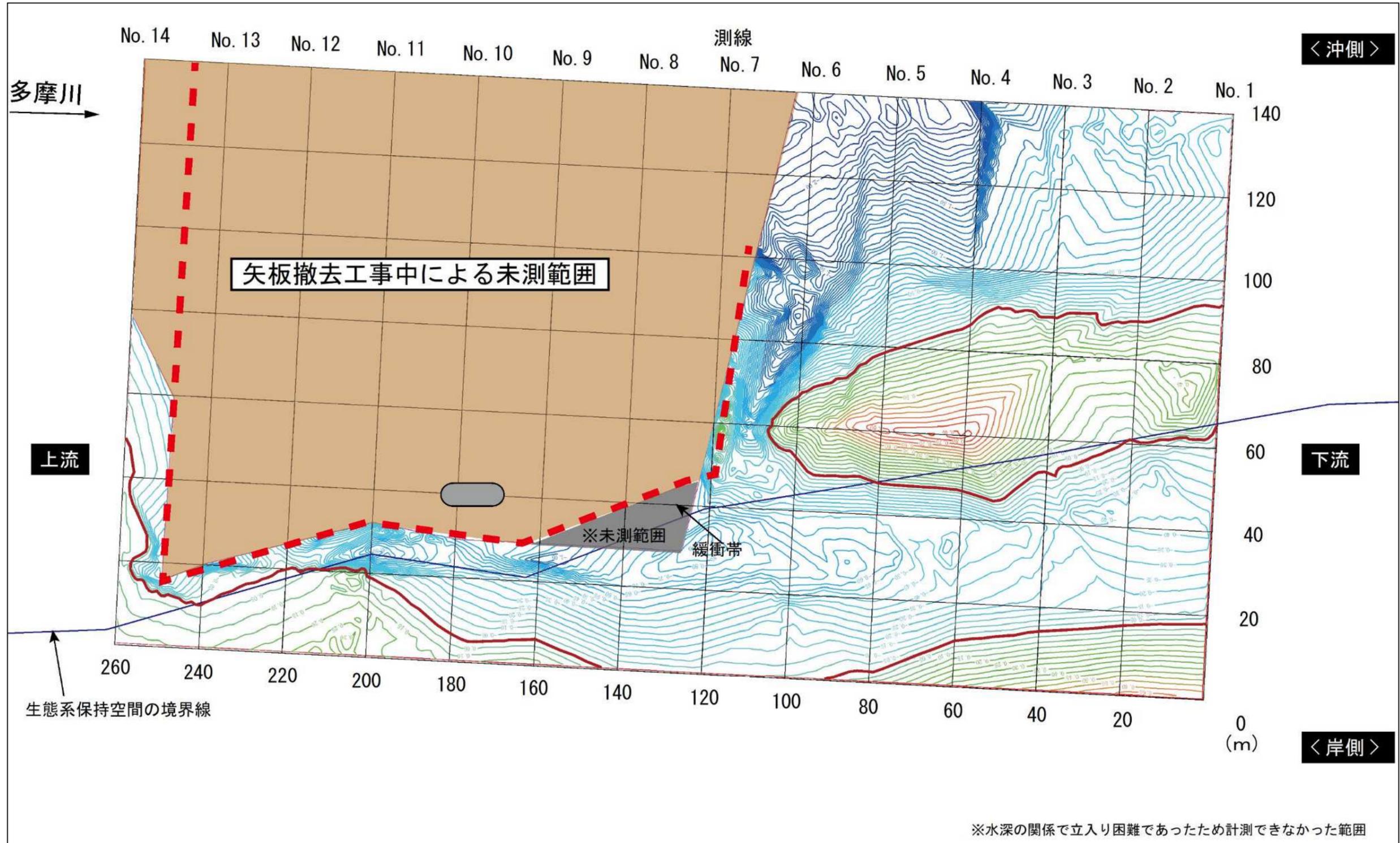


図 9.1 干潟の地形変動調査(R3 年度春季・秋季)の実施状況

表 9.1 使用機器の仕様(干潟の地形変動調査)

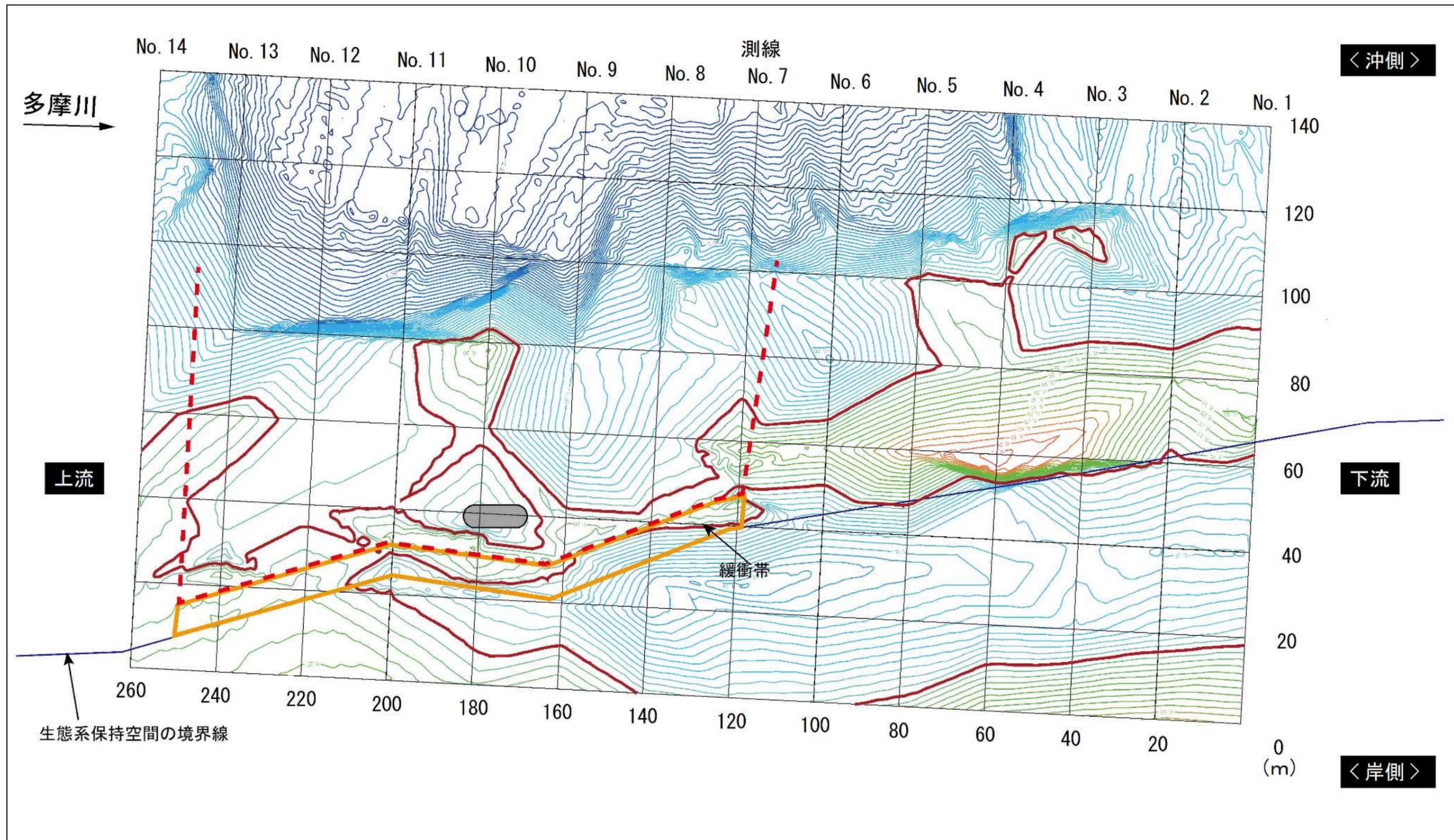
機種	機種名	製造	用途	精度	検定書	その他
音響測深器	PDR-1300 型	千本電機株式会社	深浅測量	$\pm (0.03 + \text{水深} / 1000)$ m 以上	無	
DGPS	SPS351	株式会社ニコン・トリンプル	深浅測量	1m 以下	無	
RTK-GPS	GPS1200 GX1230GG	ライカジオシステムズ株式会社	干潟測量	水平: 10mm+1ppm 垂直: 20mm+1ppm	有	ネットワーク型 RTKGPS 観測に適合
トータルステーション	FX-105	株式会社トプコン	干潟測量	$(2 + 2\text{ppm} \times D)$ mm D: 距離	有	2級トータルステーションに適合
レベル	DL-103RS	株式会社トプコン	干潟測量 横断測量	1km 往復時: 1.3mm	有	2級レベルに適合

2) 調査結果



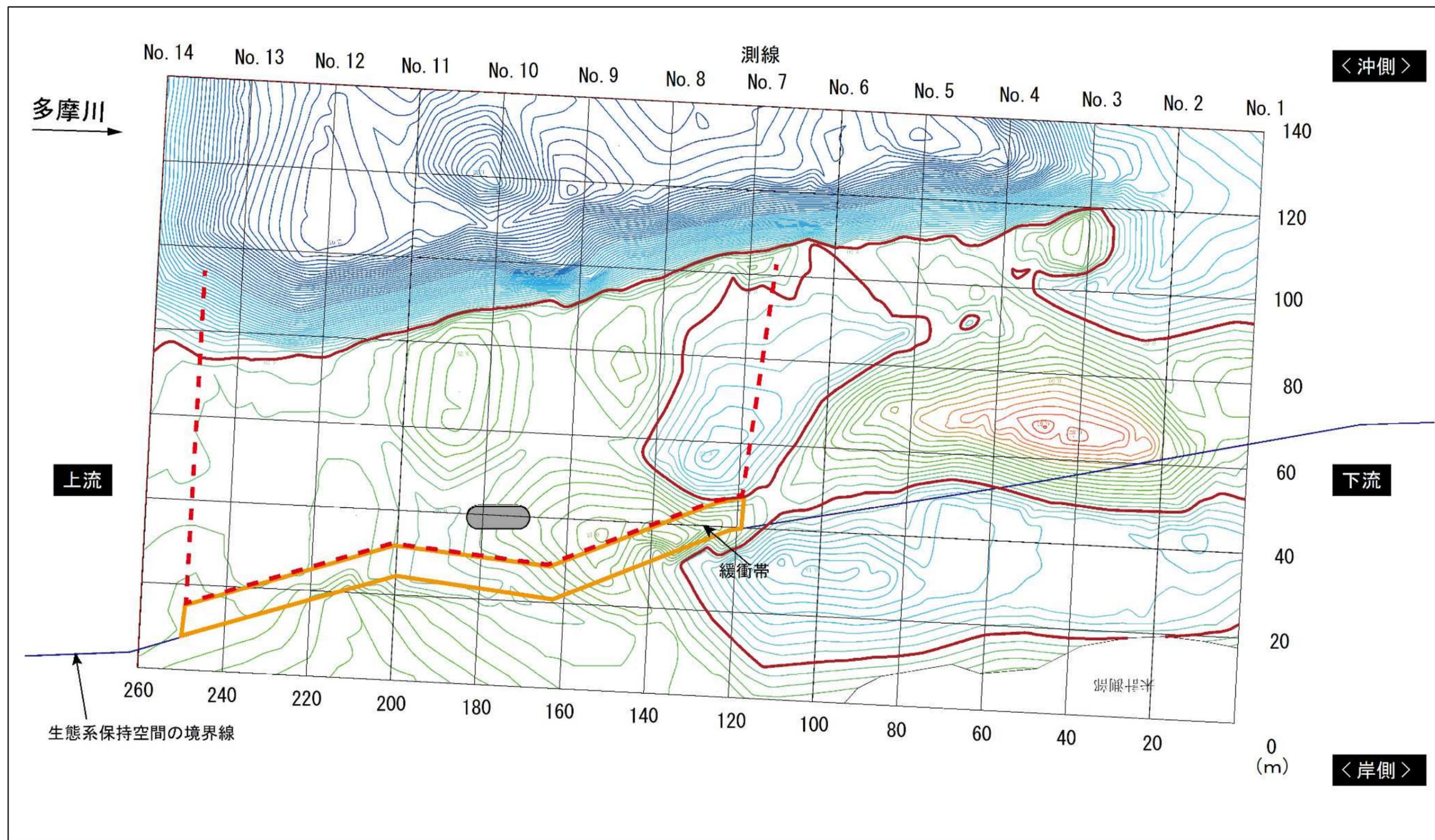
- A. P. 0m
- - - 鋼矢板のあったライン

図 9.2 干潟等深線図 (R3 年度春季) (S=1:1,000)



- A. P. 0m
- - - 鋼矢板のあったライン

図 9.3 干潟等深線図 (R3 年度秋季) (S=1:1,000)



- A. P. 0m
- - - 鋼矢板のあったライン

図 9.4 [参考]干潟等深線図(R3.7 埋め戻し後)(S=1:1,000)

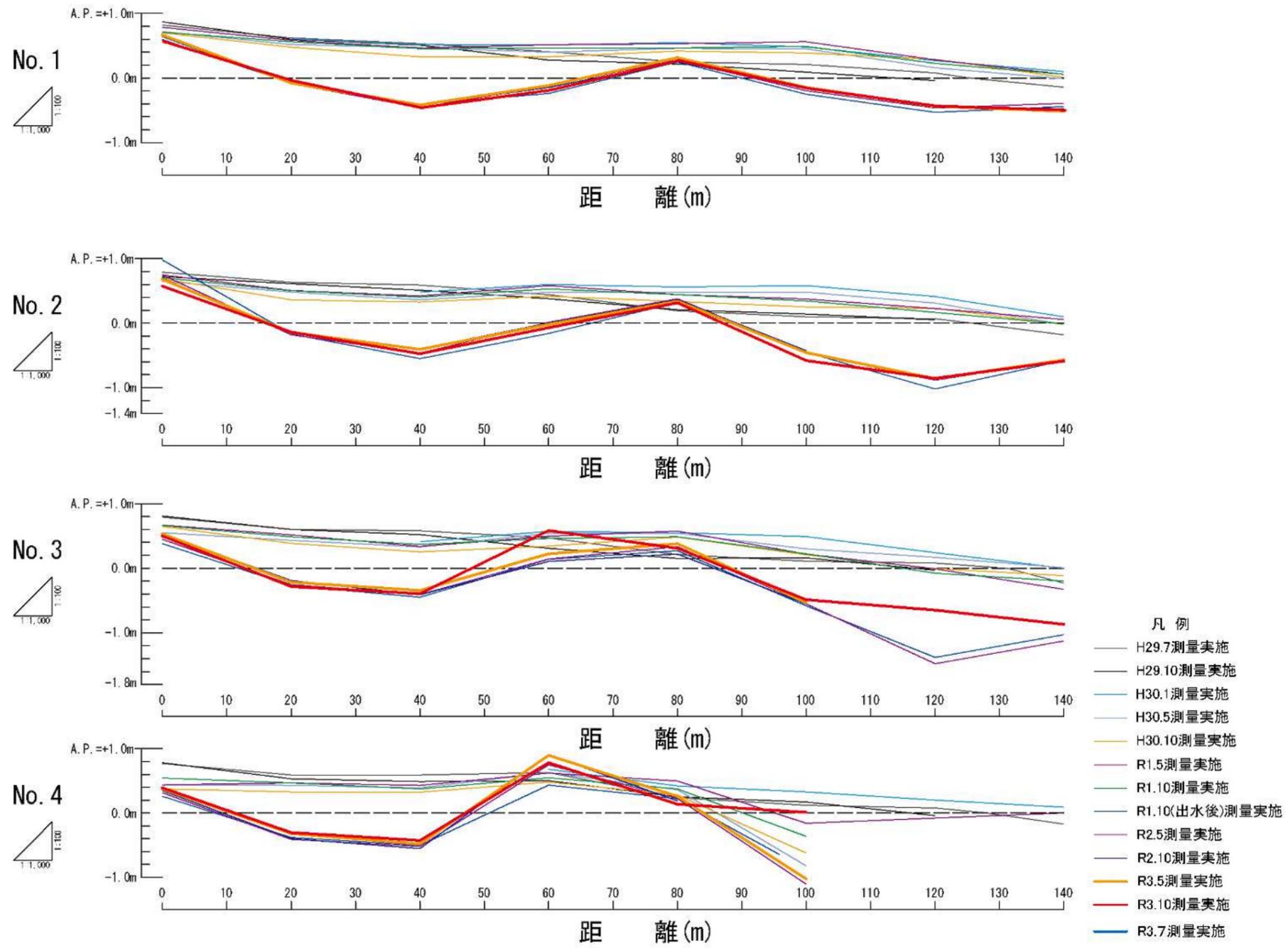
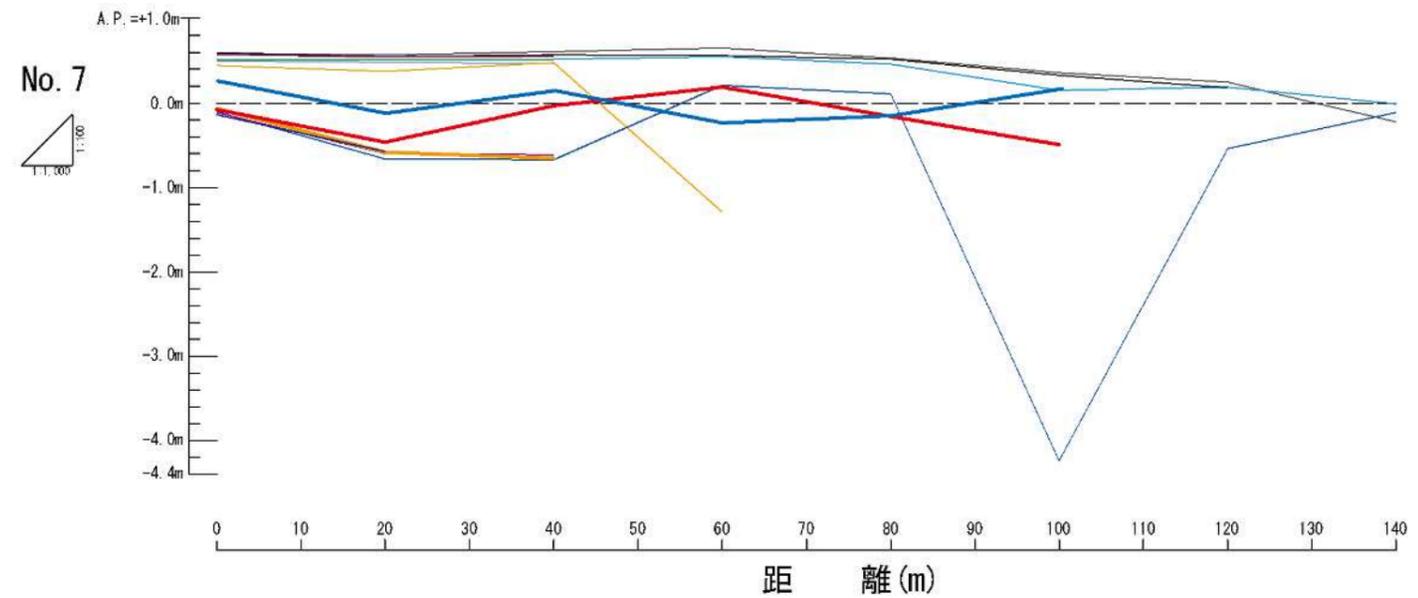
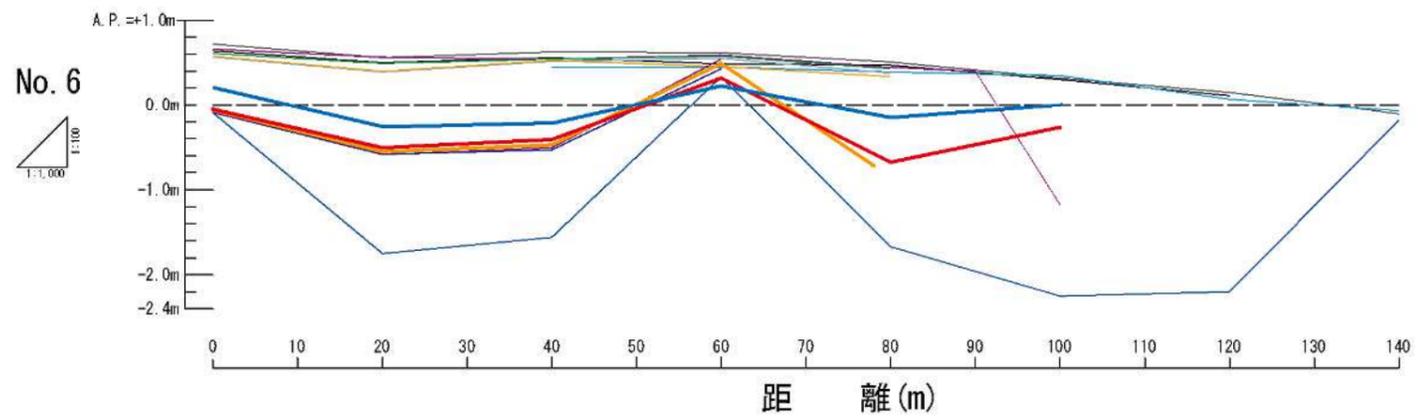
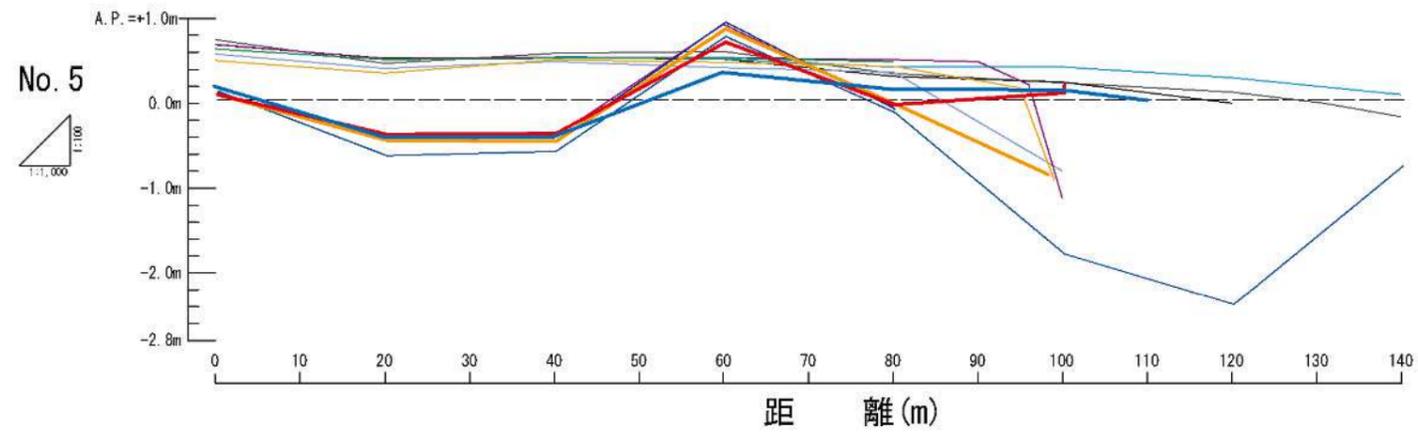


图 9.5 干潟地形变化(横断面)-1



- 凡例
- H29.7測量実施
 - H29.10測量実施
 - H30.1測量実施
 - H30.5測量実施
 - H30.10測量実施
 - R1.5測量実施
 - R1.10測量実施
 - R1.10(出水後)測量実施
 - R2.5測量実施
 - R2.10測量実施
 - R3.5測量実施
 - R3.10測量実施
 - R3.7測量実施

图 9.6 干潟地形变化(横断面图)-2

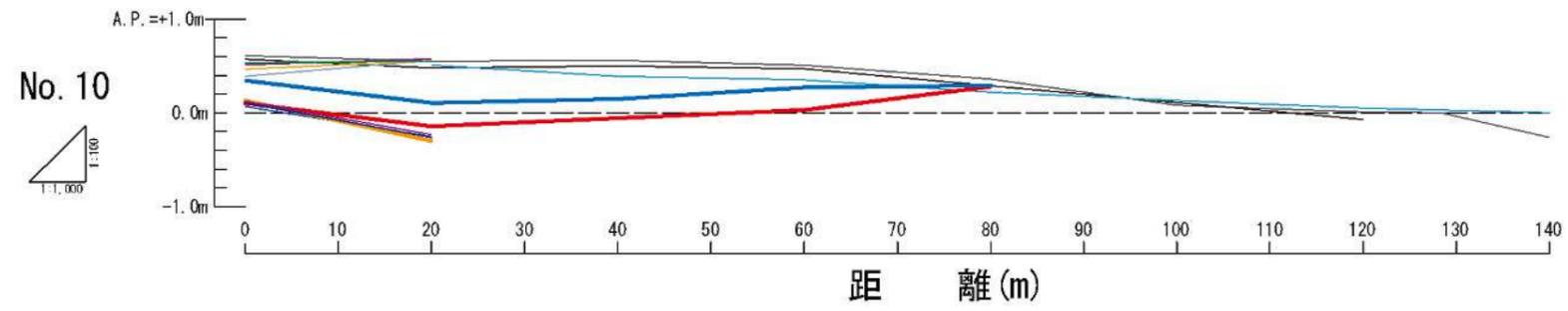
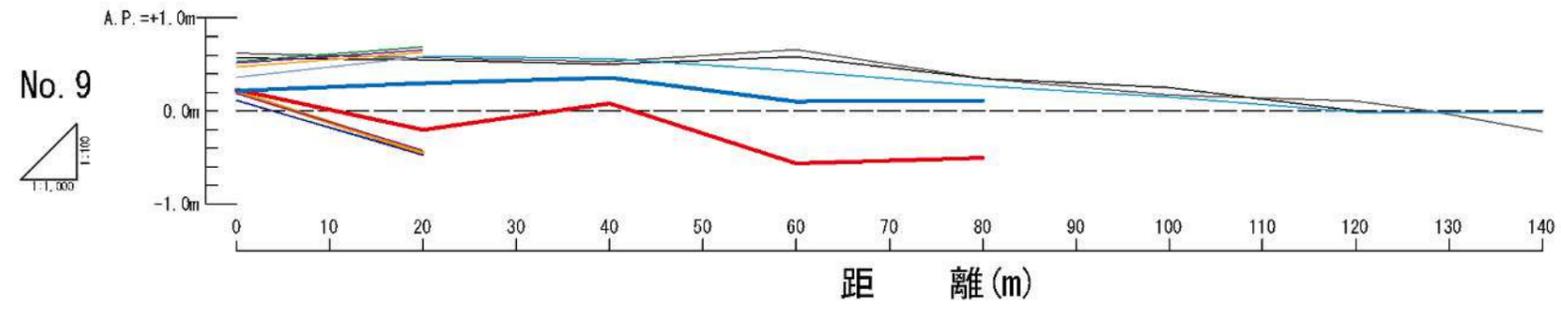
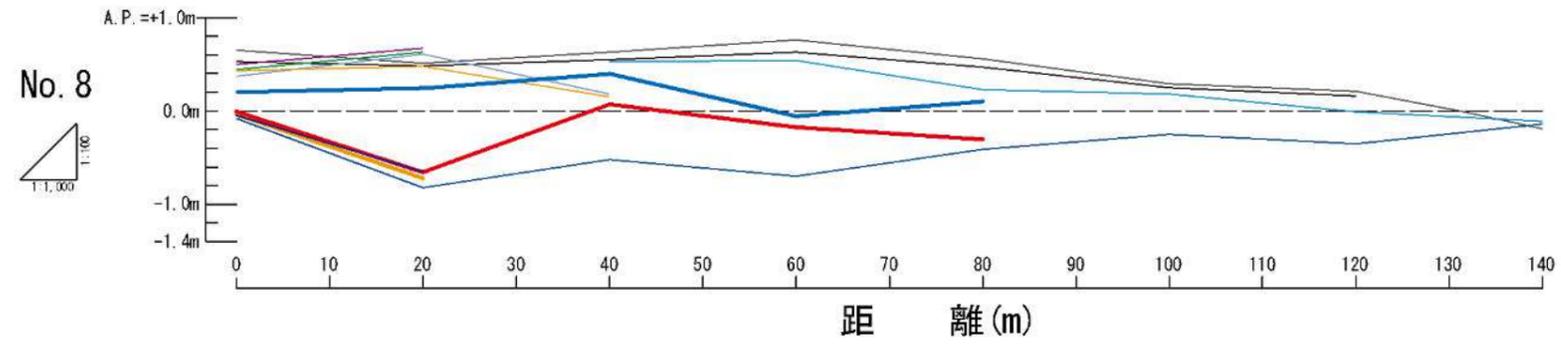


图 9.7 干潟地形变化(横断面) -3

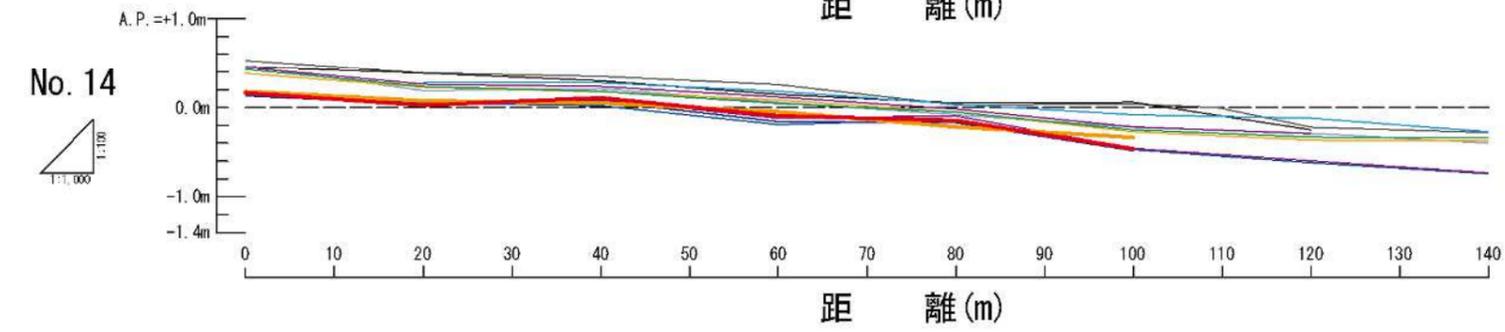
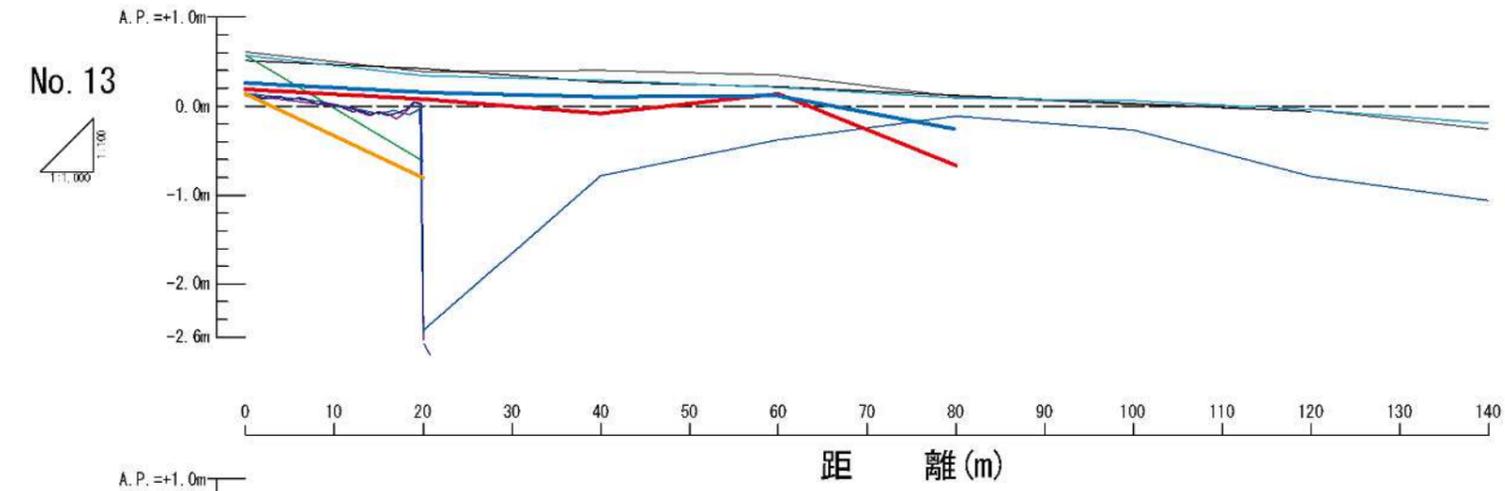
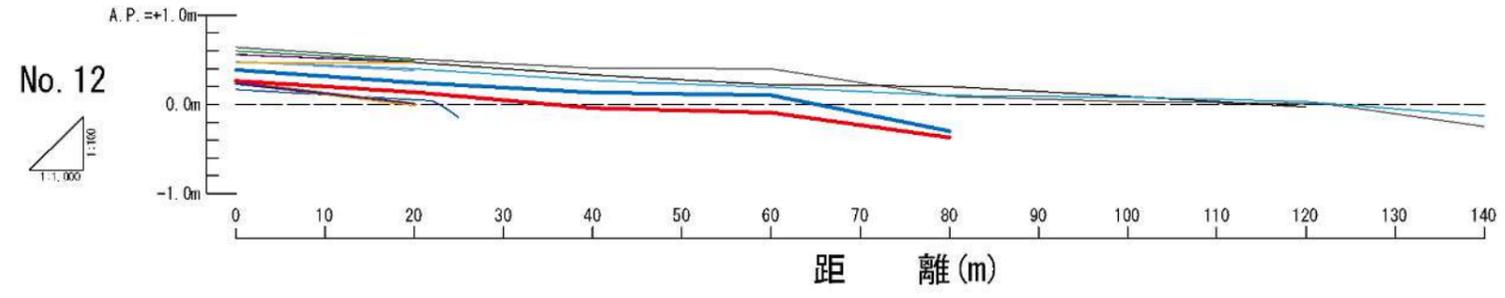
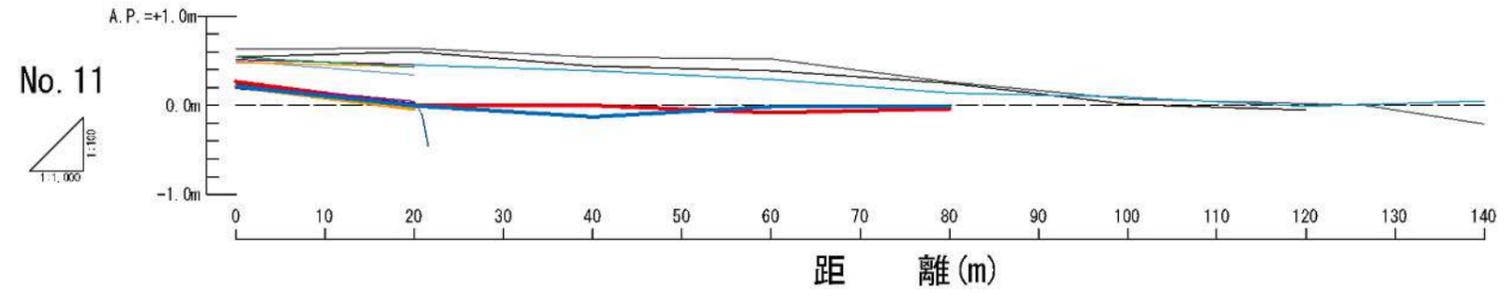
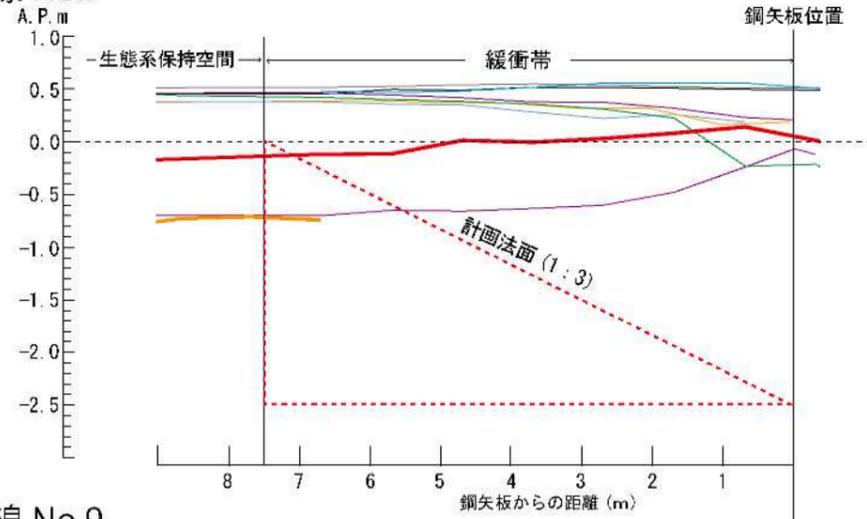
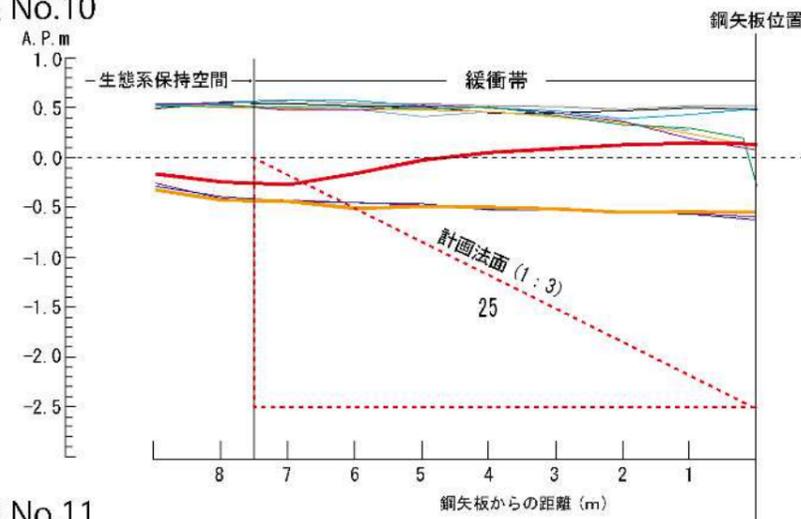


图 9.8 干瀉地形变化(横断面)-4

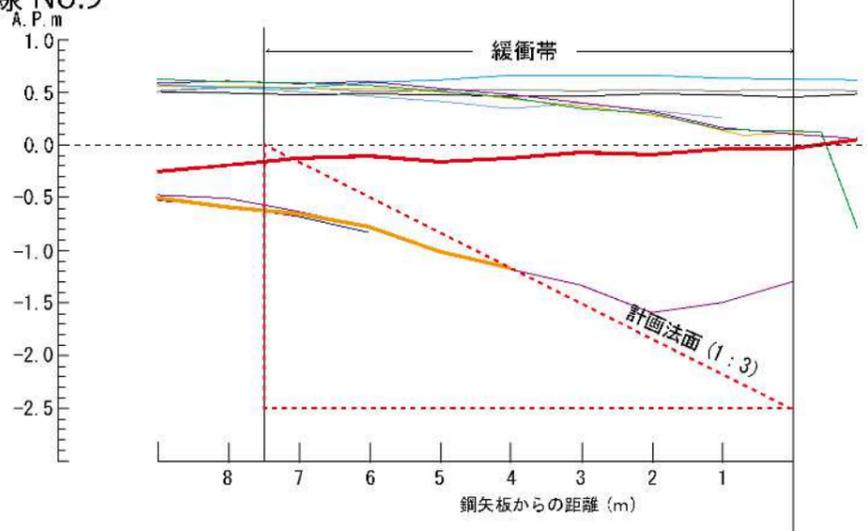
測線 No.7



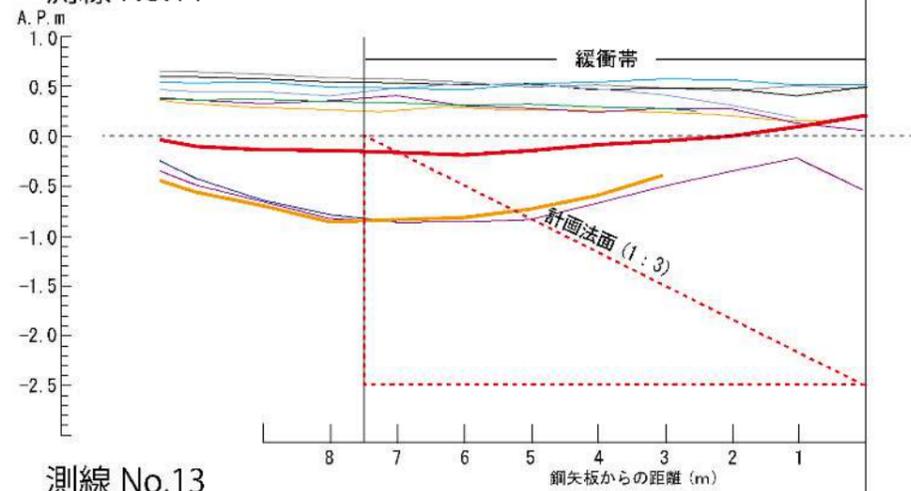
測線 No.10



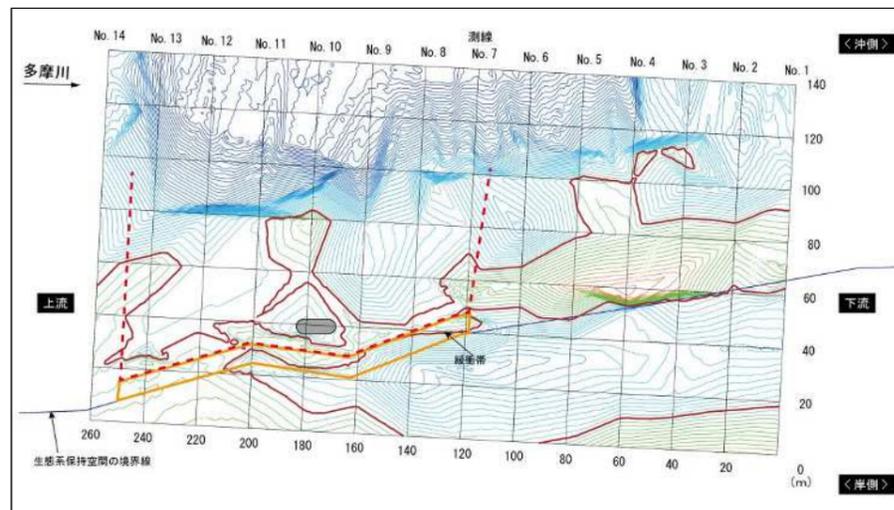
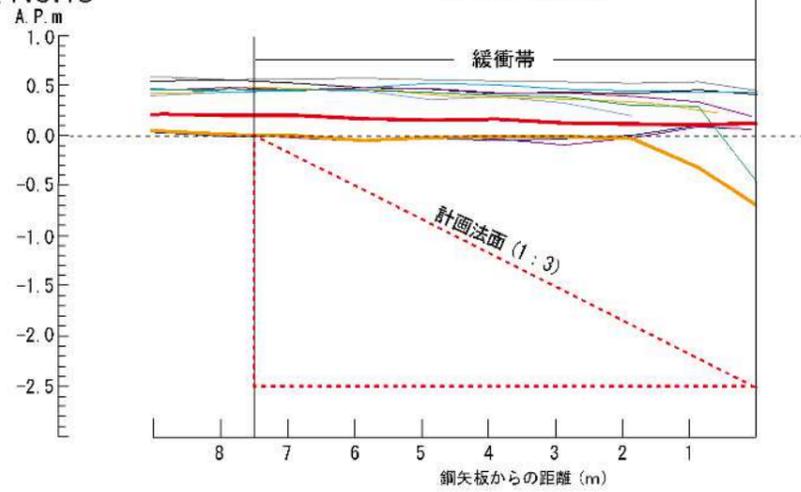
測線 No.9



測線 No.11



測線 No.13



- 凡例
- H29.7測量実施
 - H29.10測量実施
 - H30.1測量実施
 - H30.5測量実施
 - H30.10測量実施
 - R1.5測量実施
 - R1.10測量実施
 - R1.10(出水後)測量実施
 - R2.5測量実施
 - R2.10測量実施
 - R3.5測量実施
 - R3.10測量実施

図 9.9 緩衝帯付近の横断面図

(10) 底生生物調査(干潟調査)

1) 調査方法

底生生物の調査方法は、定量調査(スミスマッキンタイヤ(河川内)、コアサンプラー(干潟))、任意踏査(スコップ、タモ網等)による採集を行った。

採取方法は、15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ20cmまで採泥し、1.0mm目のフルイで砂泥を濾して各地点の底生生物を採集した。

微細藻類は、5cm四方の範囲を1~2mmの厚さで採取し、エタノール99%で固定したのち分析した。

底生生物調査方法及び実施状況は、に示す表10.1とおりでである。

表 10.1 底生生物調査・藻類調査方法及び実施状況

	調査方法	
	底生生物調査	藻類調査
実施状況		
	R3年度春季(R3.5.13)	
実施状況		
	R3年度秋季(R3.10.5)	
概要	定量採集は、調査範囲内に設定した調査地点で、φ15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、スコップや熊手を用いてその範囲の底泥を深さ20cmまで掬いとり、1.0mm目の篩で砂泥を濾し、残渣物を底生生物の分析試料とした。	微細藻類は、5cm四方の範囲を1~2mmの厚さで採取し、エタノール99%で固定したのち分析した。

2) 調査結果

表 10.2 総採集個体数及び総湿重量 (R3 年度春季)

No.	門	綱	目	科	学名	地点		合計		
						種名	個体数	湿重量(g)		
1	紐形動物門	(紐形動物門)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門		28	1.03	
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ミズゴマツボ科	<i>Stenothyra edogawensis</i>	エドガワミズゴマツボ		1	0.00	
3			二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	<i>Musculista senhousia</i>	ホトトギスガイ		13	1.71
4		マルスダレガイ目		ガツツキ科	<i>Arthritica reikoe</i>	ガタツキ		15	0.01	
5			ニッコウガイ科		<i>Macoma contabulata</i>	サビシラトリガイ		3	1.45	
6			アサジガイ科	<i>Theora fragilis</i>	シズクガイ		4	0.09		
7			マテガイ科	<i>Solen dunkerianus</i>	チゴマテガイ		1	0.02		
8			シジミ科	<i>Corbicula japonica</i>	ヤマトシジミ		42	31.80		
9				<i>Corbicula sp.</i>	Corbicula属		2	0.00		
10			マルスダレガイ科	<i>Mercenaria mercenaria</i>	ホンビノスガイ		1	0.75		
11			<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ		57	16.73			
12		環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	<i>Eteone sp.</i>	Eteone属		24	0.02
13					Phyllodocidae		サシバゴカイ科		1	0.00
14					チロリ科	<i>Glycera sp.</i>	Glycera属		1	0.02
15					ニカイチロリ科	<i>Glycinde sp.</i>	Glycinde属		1	0.00
16					カギゴカイ科	<i>Sigambra sp.</i>	Sigambra属		10	0.02
17					ゴカイ科	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	コケゴカイ		2	0.00
18						<i>Hediste diadroma</i>	ヤマトカワゴカイ		3	0.18
19						<i>Hediste sp.</i>	Hediste属		115	0.46
20					シロガネゴカイ科	<i>Nephtys sp.</i>	Nephtys属		2	0.02
21	スピオ目				スピオ科	Polydora sp.	Polydora属		2	0.00
22				<i>Prionospio japonicus</i>			ヤマトスピオ		287	0.56
23				<i>Pseudopolydora sp.</i>		Pseudopolydora属		239	0.60	
24				ミズヒキゴカイ科		<i>Cirriformia tentaculata</i>	ミズヒキゴカイ		5	1.19
25	イトゴカイ目			イトゴカイ科	<i>Capitella sp.</i>	Capitella属		1	0.00	
26					<i>Heteromastus sp.</i>	Heteromastus属		131	0.72	
27		<i>Notomastus sp.</i>	Notomastus属			41	0.26			
28	オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	<i>Armandia sp.</i>	Armandia属		1	0.00			
29	節足動物門	軟甲綱	クーマ目	シロクーマ科	Leuconidae	シロクーマ科		1	0.00	
30			ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	<i>Grandidierella japonica</i>	ニッポンドロソコエビ		10	0.05	
31				メリタヨコエビ科	<i>Melita sp.</i>	Melita属		2	0.00	
32			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	<i>Cyathura muromiensis</i>	ムロミスナウミナナフシ		2	0.01	
33					<i>Cyathura sp.</i>	Cyathura属		20	0.18	
34			アミ目	アミ科	<i>Neomysis sp.</i>	Neomysis属		2	0.00	
35			エビ目	モクズガニ科	<i>Hemigrapsus takanoi</i>	タカノケフサイソガニ		1	0.33	
36	腕足動物門	ホウキムシ綱	ホウキムシ目	ホウキムシ科	<i>Phoronis ijimai</i>	ヒメホウキムシ		11	0.13	
種 類 数								36		
個体数・湿重量合計								1082	58.34	

注) 湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

表 10.3 地点ごとの採集個体数と湿重量 (R3 年度春季)

No.	門	綱	目	科	学名	地点		No. 5+60		No. 5+80		No. 5+100		No. 8+40		No. 10+30		No. 11+30		No. 13+20		No. 14+60		No. 14+80		合計			
						種名	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数
1	紐形動物門	(紐形動物門)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門	5	0.33	2	0.08	1	0.00	4	0.14	6	0.40	2	0.01			2	0.00	6	0.07	28	1.03			
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ミスゴマツボ科	Stenothyra edogawensis	エドガワミスゴマツボ									1	0.00									1	0.00			
3		二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	Musculista senhousia	ホトトギスガイ	2	0.17	2	0.17			3	0.66	1	0.04	1	0.15	1	0.11	2	0.37	1	0.04	13	1.71			
4			マルスダレガイ目	ガンツキ科	Arthritica reikoe	ガタツキ	2	0.00							7	0.01					6	0.00			15	0.01			
5				ニッコウガイ科	Macoma contabulata	サビシラトリガイ			1	0.76	1	0.19					1	0.50							3	1.45			
6				アサジガイ科	Theora fragilis	シズクガイ					4	0.09													4	0.09			
7				マテガイ科	Solen dunkerianus	チゴマテガイ																		1	0.02	1	0.02		
8				シジミ科	Corbicula japonica	ヤマトシジミ	7	6.22	4	4.41					11	9.80	8	4.86	11	6.46	1	0.05			42	31.80			
9					Corbicula sp.	Corbicula属	2	0.00																	2	0.00			
10				マルスダレガイ科	Mercenaria mercenaria	ホンビノスガイ													1	0.75					1	0.75			
11					Ruditapes philippinarum	アサリ	1	0.01	4	1.21	4	0.59			2	0.28	2	0.49	14	2.15	7	3.50	23	8.50	57	16.73			
12	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone sp.	Eteone属	1	0.00			1	0.00	5	0.01	7	0.01	5	0.00	5	0.00					24	0.02			
13					Phyllodoceidae	サシバゴカイ科							1	0.00											1	0.00			
14				チロリ科	Glycera sp.	Glycera属					1	0.02													1	0.02			
15				ニカイチロリ科	Glycinde sp.	Glycinde属																		1	0.00	1	0.00		
16				カギゴカイ科	Sigambra sp.	Sigambra属					6	0.02									1	0.00			3	0.00	10	0.02	
17				ゴカイ科	Ceratonereis erythraeensis	コケゴカイ																		2	0.00	2	0.00		
18					Hediste diadroma	ヤマトカワゴカイ							2	0.12	1	0.06									3	0.18			
19					Hediste sp.	Hediste属	6	0.03	6	0.03	2	0.01	37	0.02	34	0.20	23	0.15	3	0.01	4	0.01			115	0.46			
20				シロガネゴカイ科	Nephtys sp.	Nephtys属	1	0.00			1	0.02													2	0.02			
21			スピオ目	スピオ科	Polydora sp.	Polydora属	1	0.00							1	0.00									2	0.00			
22					Prionospio japonicus	ヤマトスピオ	42	0.10	41	0.14	25	0.04	20	0.05	48	0.10	13	0.02	33	0.03	27	0.03	38	0.05	287	0.56			
23					Pseudopolydora sp.	Pseudopolydora属	44	0.06	14	0.02	10	0.01	59	0.33	32	0.05	8	0.01	16	0.01	23	0.02	33	0.09	239	0.60			
24				ミズヒキゴカイ科	Cirriiformia tentaculata	ミズヒキゴカイ	1	0.05	1	0.48	3	0.66													5	1.19			
25			イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella sp.	Capitella属									1	0.00									1	0.00			
26					Heteromastus sp.	Heteromastus属			36	0.29	43	0.22	12	0.06	16	0.08	8	0.04	4	0.00	2	0.00	10	0.03	131	0.72			
27					Notomastus sp.	Notomastus属	41	0.26																	41	0.26			
28				オフエリアゴカイ目	Armandia sp.	Armandia属																		1	0.00	1	0.00		
29	節足動物門	軟甲綱	クーマ目	シロクーマ科	Leuconidae	シロクーマ科									1	0.00									1	0.00			
30			ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	Grandidierella japonica	ニッポンドロソコエビ			1	0.01	2	0.01	2	0.01	1	0.01	2	0.01	1	0.00	1	0.00			10	0.05			
31				メリタヨコエビ科	Melita sp.	Melita属																		2	0.00	2	0.00		
32			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura muromiensis	ムロミスナウミナナフシ			1	0.01									1	0.00					2	0.01			
33					Cyathura sp.	Cyathura属	7	0.05	3	0.04	1	0.01			5	0.04	1	0.01			1	0.01	2	0.02	20	0.18			
34				アミ目	Neomysis sp.	Neomysis属							1	0.00										1	0.00	2	0.00		
35				エビ目	Hemigrapsus takanoi	タカノケフサイソガニ																		1	0.33	1	0.33		
36	腕足動物門	ホウキムシ綱	ホウキムシ目	ホウキムシ科	Phoronis ijimai	ヒメホウキムシ					10	0.08	1	0.05												11	0.13		
種類数							15		13		16		12		17		12		11		12		15		36				
個体数・湿重量合計							163	7.28	116	7.65	115	1.97	147	1.45	175	11.08	74	6.25	90	9.52	77	3.99	125	9.15	1082	58.34			

注) 湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

表 10.4 総採集個体数及び総湿重量 (R3 年度秋季)

No.	門	綱	目	科	学名	地点	合計	
						種名	個体数	湿重量
1	紐形動物門	(紐形動物門)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門	14	0.61
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ミズゴマツボ科	<i>Stenothyra edogawensis</i>	ウミゴマツボ	6	0.00
3			二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	<i>Corbicula japonica</i>	ヤマトシジミ	74
4		マルスダレガイ科		<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	9	4.71	
5		ウミタケガイモドキ目		オキナガイ科	<i>Laternula marilina</i>	ソトオリガイ	1	1.64
6		環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	チロリ科	<i>Glycera</i> sp.	<i>Glycera</i> 属	2
7	ゴカイ科				<i>Hediste</i> sp.	<i>Hediste</i> 属	2	0.01
8	スピオ目				スピオ科	<i>Prionospio japonicus</i>	ヤマトスピオ	4
9				スピオ科	<i>Pseudopolydora</i> sp.	<i>Pseudopolydora</i> 属	2	0.00
10	イトゴカイ目			ミズヒキゴカイ科	<i>Cirriformia tentaculata</i>	ミズヒキゴカイ	1	0.23
11				イトゴカイ科	<i>Heteromastus</i> sp.	<i>Heteromastus</i> 属	34	0.18
12				イトゴカイ科	<i>Notomastus</i> sp.	<i>Notomastus</i> 属	7	0.02
13		節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	<i>Grandidierella japonica</i>	ニッポンドロソコエビ	70
14	ウラジムシ目			スナウミナナフシ科	<i>Cyathura</i> sp.	<i>Cyathura</i> 属	153	2.24
15	アミ目			アミ科	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ	1	0.00
16	エビ目			テッポウエビ科	<i>Athanas</i> sp.	<i>Athanas</i> 属	1	0.05
17	スナモグリ科			<i>Callianassa japonica</i>	ニホンスナモグリ	0	0.00	
18	腕足動物門	ホウキムシ綱	ホウキムシ目	ホウキムシ科	<i>Phoronis ijimai</i>	ヒメホウキムシ	10	0.15
種 類 数							17	
個体数・湿重量合計							391	114.86

注) 湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

表 10.5 地点ごとの採集個体数と湿重量 (R3 年度秋季)

No.	門	綱	目	科	学名	地点		No. 5+60		No. 5+80		No. 5+100		No. 8+40		No. 10+30		No. 11+30		No. 13+20		No. 14+60		No. 14+80		合計		
						種名	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	紐形動物門	(紐形動物)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門	1	0.01	3	0.10	3	0.07	1	0.23	1	0.02					1	0.00			4	0.18	14	0.61
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ミズゴマツボ科	Stenothyra edogawensis	ウミゴマツボ					1	0.00					1	0.00	2	0.00	2	0.00					6	0.00
3		二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	Corbicula japonica	ヤマトシジミ	15	16.09	15	25.03	8	9.58	9	16.45			13	21.78	9	10.37	4	3.01	1	1.67	74	103.98		
4				マルスダレガイ科	Ruditapes philippinarum	アサリ	1	0.00	1	0.53	1	0.13			5	3.49							1	0.56	9	4.71		
5			ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	Laternula marilina	ソトオリガイ							1	1.64												1	1.64	
6	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	チロリ科	Glycera sp.	Glycera属							1	0.62							1	0.25					2	0.87
7				ゴカイ科	Hediste sp.	Hediste属							1	0.01									1	0.00			2	0.01
8			スピオ目	スピオ科	Prionospio japonicus	ヤマトスピオ									1	0.00							2	0.00	1	0.00	4	0.00
9				スピオ科	Pseudopolydora sp.	Pseudopolydora属																	2	0.00			2	0.00
10				ミズヒキゴカイ科	Cirriformia tentaculata	ミズヒキゴカイ					1	0.23														1	0.23	
11			イトゴカイ目	イトゴカイ科	Heteromastus sp.	Heteromastus属	14	0.08	3	0.01	8	0.04	3	0.03	1	0.01					4	0.01	1	0.00	34	0.18		
12				イトゴカイ科	Notomastus sp.	Notomastus属									2	0.00					5	0.02					7	0.02
13	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	Grandidierella japonica	ニッポンドロソコエビ	2	0.00			4	0.02	1	0.00	34	0.08	8	0.01	11	0.03	8	0.03	2	0.00	70	0.17		
14			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura sp.	Cyathura属	38	0.64	25	0.39	20	0.31	9	0.13	19	0.24	6	0.04	9	0.10	14	0.18	13	0.21	153	2.24		
15			アミ目	アミ科	Neomysis japonica	ニホンイサザアミ					1	0.00													1	0.00		
16			エビ目	テッポウエビ科	Athanas sp.	Athanas属																1	0.05			1	0.05	
17				スナモグリ科	Callianassa japonica	ニホンスナモグリ																				0	0.00	
18	腕足動物門	ホウキムシ	ホウキムシ目	ホウキムシ科	Phoronis ijimai	ヒメホウキムシ	7	0.08	1	0.04														2	0.03	10	0.15	
種類数							7		6		10		7		7		4		7		9		8		17			
個体数・湿重量合計							78	16.90	48	26.10	48	11.00	25	18.49	63	3.84	28	21.83	38	10.77	38	3.28	25	2.65	391	114.86		

注) 湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

(11) 底質調査(干潟調査)

1) 調査方法

底質調査は、表 11.1 に示す調査手法を用いて、調査範囲内の底生生物の生息環境を把握するために土質調査を実施した。

底質の採取方法は、15cm の円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ 20cm まで採泥し、土質調査(粗度組成、強熱減量、COD)、現地測定(pH、底層 DO、水温、塩分)を行った。

表 11.1 底質調査方法及び実施状況

調査方法	底質調査	
実施状況		
概要	<p>R3年度春季 (R3. 5. 15) R3年度秋季 (R3. 10. 5)</p> <p>底質調査は、底生生物の生息環境を把握するため、底生生物の定量採集と同じ地点で底質を採取し、性状、酸化還元電位、塩分、含水比等を記録した後、試料を持ち帰り、粒度組成、強熱減量の分析を行なった。</p>	

2) 調査結果

表 11.2 干潟底質調査結果 (R3 年度春季)

No.	調査時期	位置	地点名	粒度分析結果								化学分析結果		
				d50(mm)	粗礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	強熱減量 (%)	COD (mg/g - dry)
1	秋季	干潟	No.5+60	0.204			0.1	0.3	13.9	24.1	34.5	27.1	3.2	-
2	秋季	干潟	No.5+80	0.241		0.7	0.7	2.2	72.4	21.9	1.1	1.0	2.0	-
3	秋季	干潟	No.5+100	0.181				0.1	17.3	43.7	24.6	14.3	1.9	-
4	秋季	干潟	No.8+40	0.297			0.4	1.0	34.2	37.0	13.7	13.7	2.6	-
5	秋季	干潟	No.10+30	0.265			0.4	0.6	42.0	39.6	10.6	6.8	2.8	-
6	秋季	干潟	No.11+30	0.264			0.1	0.6	54.7	34.7	6.4	3.5	2.2	-
7	秋季	干潟	No.13+20	0.312		0.8	0.8	3.2	59.3	17.4	11.7	6.8	2.7	-
8	秋季	干潟	No.13+60	0.245			0.1	0.3	60.2	33.9	3.5	2.0	2.2	2.6
9	秋季	干潟	No.13+80	0.29		1.4	0.9	1.0	73.8	19.3	2.6	1.0	2.2	-

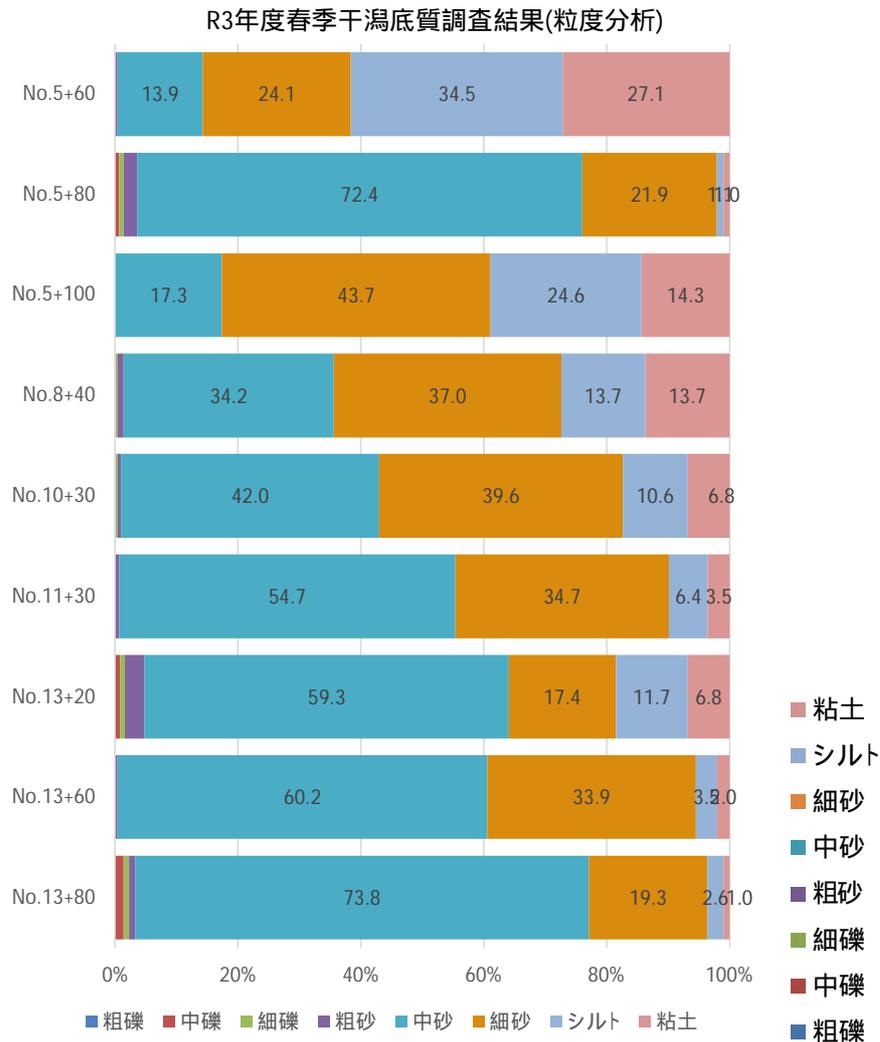


図 11.1 干潟底質調査結果 (粒度組成、令和 3 年度春季)

表 11.3 干潟底質調査結果 (R3 年度秋季)

No.	調査時期	位置	地点名	粒度分析結果									化学分析結果	
				d50(mm)	粗礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	強熱減量 (%)	COD (mg/g - dry)
1	秋季	干潟	No.5+60	0.294			0.1	0.6	66.9	29.6	2.7	0.1	1.9	-
2	秋季	干潟	No.5+80	0.241			0.2	0.8	46.6	37.9	9.8	4.7	2.3	-
3	秋季	干潟	No.5+100	0.19			0.1	0.3	31.8	43.9	15.2	8.7	3.2	-
4	秋季	干潟	No.8+40	0.204				0.5	24.6	67.6	4.8	2.5	2.0	-
5	秋季	干潟	No.8+80	0.21		0.7	0.8	1.5	29.4	60.1	5.0	2.5	1.9	1.2
6	秋季	干潟	No.10+30	0.19		0.1	1.4	2.4	22.6	47.7	17.2	8.6	2.6	-
7	秋季	干潟	No.10+80	0.186		0.4	0.5	1.5	23.0	60.5	9.0	5.1	2.8	-
8	秋季	干潟	No.11+30	0.211		0.5	1.4	1.7	29.4	57.3	5.6	4.1	2.2	-
9	秋季	干潟	No.11+80	0.187		1.0	1.2	2.1	27.0	49.0	13.3	6.4	2.7	3.0
10	秋季	干潟	No.13+20	0.31			0.6	2.0	62.4	21.9	8.1	5.0	2.2	-
11	秋季	干潟	No.13+60	0.24			0.4	0.8	45.0	39.1	9.6	5.1	2.2	2.8
12	秋季	干潟	No.13+80	0.395		6.7	1.5	3.0	79.4	8.0	0.3	1.1	1.9	-

*埋め戻しに伴い No.8+80、No.10+80、No.11+80 での調査を再開した。

R3年度秋季干潟底質調査結果(粒度分析)

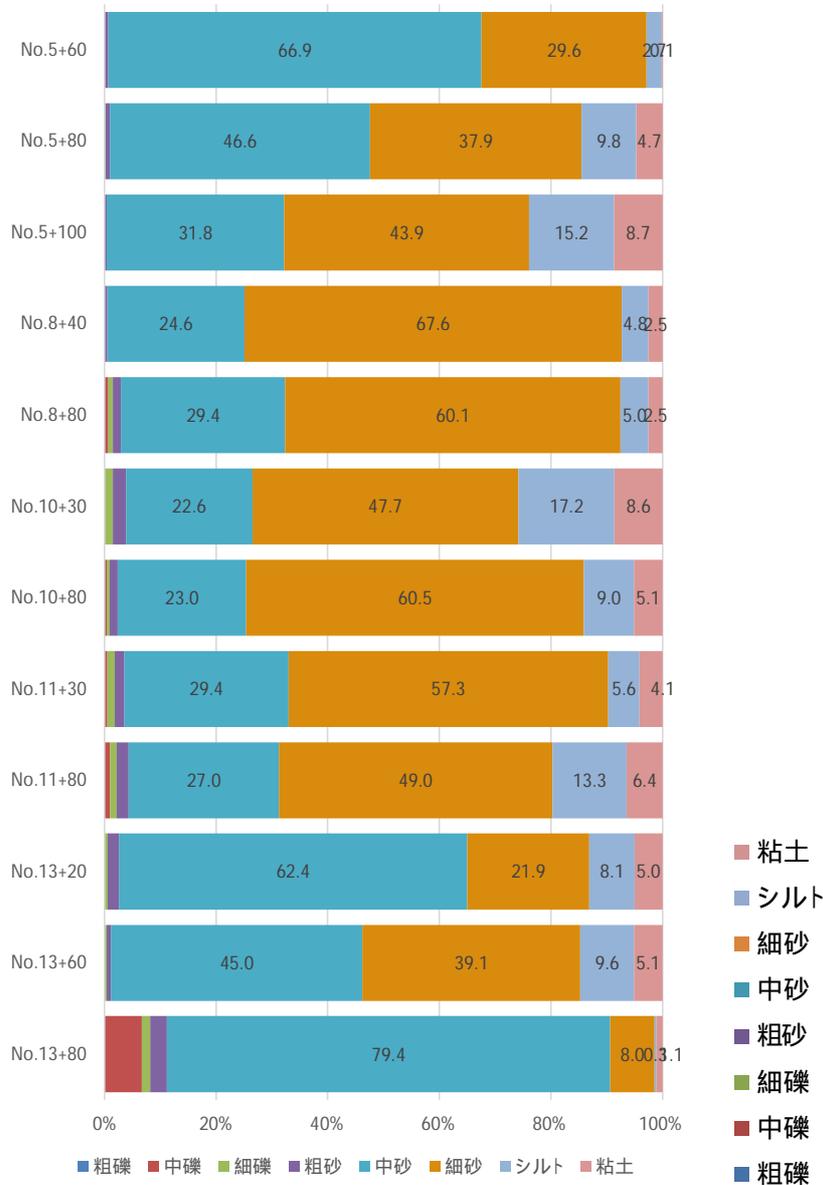


図 11.2 干潟底質調査結果(粒度組成、令和 3 年度秋季)